

資料編

資料編：目 次

阿賀町地域公共交通活性化協議会の設置	1
阿賀町生活交通アンケート調査集計結果（概要）	3
1. アンケート調査の概要	3
2. 住民アンケートの調査結果	4
(1) 回答者の属性	4
(2) 阿賀町内の外出状況	5
(3) 町外への外出状況	13
(4) 外出をしない理由	16
(5) バスの利用状況	17
(6) 鉄道の利用状況	21
(7) タクシーの利用状況	23
(8) 送迎をお願いできる人の有無	24
(9) 運転免許証が無く、送迎をお願いできる人も いない町民の状況	25
(10) 自動車運転免許の有無と個人で所有している乗り物	26
(11) 自由記述	28
3. 利用者アンケートの調査結果	34
(1) 回答者の属性	34
(2) 鉄道	35
(3) 路線バス	40
(4) 福祉バス	45
(5) 利用者の流動状況（路線バス・福祉バス）	50
(6) 高速バス（阿賀町バス）	52
(7) 行ってもよい見直し内容	54
(8) 外出する時に、2箇所以上の場所へ行く場合の目的地	55

■阿賀町地域公共交通活性化協議会の設置

- 「阿賀町地域公共交通網形成計画」は、交通事業者や道路管理者等の関係機関が連携し、一体的に推進するため、以下のとおり「阿賀町地域公共交通活性化協議会」を設置し、検討を行いました。

表 阿賀町地域公共交通活性化協議会名簿

区分	委員
計画策定市町村	副町長
公共交通事業者	新潟交通観光バス株式会社
	公益法人新潟県バス協会
	株式会社東蒲観光バス
	日本総合サービス株式会社
	阿賀町タクシー組合
	東日本旅客鉄道株式会社新潟支社
道路管理者	国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所
	新潟県新潟地域振興局津川地区振興事務所
	阿賀町建設課
公安委員会	新潟県津川警察署
地域公共交通の利用者代表	阿賀町老人クラブ連合会
	阿賀町PTA連絡協議会
学識経験者	長岡技術科学大学
その他必要と認める者	国土交通省北陸信越運輸局交通政策部交通企画課
	国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局
	新潟県新潟地域振興局企画振興部
	阿賀野市総務課
	新発田市市民まちづくり支援課
	東蒲原郡商工会振興協議会
	一般社団法人阿賀町観光協会
	阿賀町社会福祉協議会
	阿賀町町民生活課
	阿賀町健康福祉課
	阿賀町農林商工課
	阿賀町学校教育課

表 検討経過

年月日	内容
平成 29 年 4 月 4 日	○第 1 回協議会 ・阿賀町地域公共交通活性化協議会規約（案）等について ・阿賀町地域公共交通網形成計画策定の調査業務委託について
平成 29 年 7 月 3 日	○第 2 回協議会 ・計画策定のスケジュール（案） ・アンケート調査実施概要（案）について
平成 29 年 10 月 31 日	○第 3 回協議会 ・地域公共交通網形成計画（骨子案）の確認
平成 29 年 12 月 26 日	○第 4 回協議会 ・地域公共交通網形成計画（素案）の確認
平成 30 年 1 月 19 日～1 月 26 日	○第 1 回書面協議 ・地域公共交通網形成計画（修正案）の確認
平成 30 年 2 月 1 日～2 月 9 日	○第 2 回書面協議 ・地域公共交通網形成計画（修正案）の確認
平成 30 年 2 月 15 日～2 月 28 日	○パブリックコメントの実施
平成 30 年 3 月 19 日	○第 5 回協議会 ・地域公共交通網形成計画の策定

阿賀町 生活交通アンケート調査集計結果（概要）

1. アンケート調査の概要

○調査対象は、「住民」および「公共交通利用者」です。

○住民アンケート調査および利用者アンケート調査の概要を下表に示します。

表 調査の概要

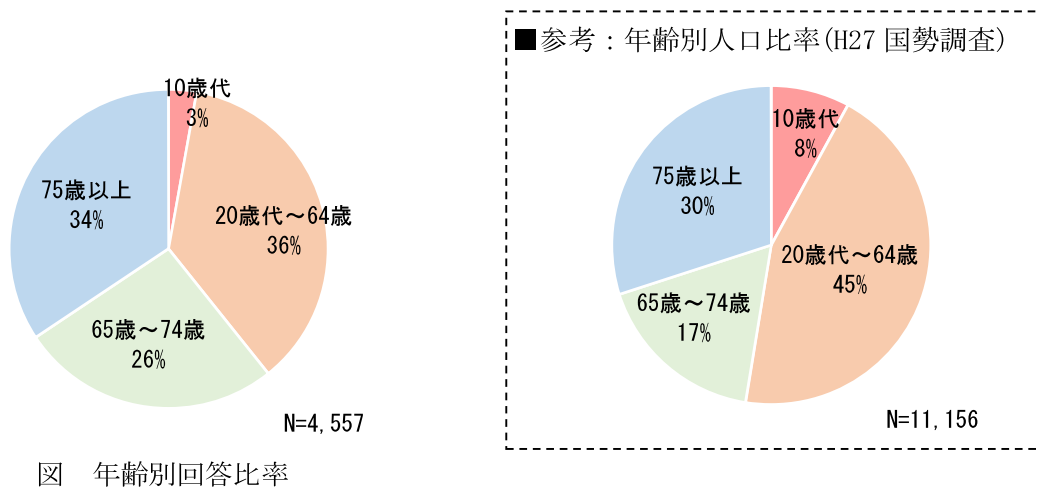
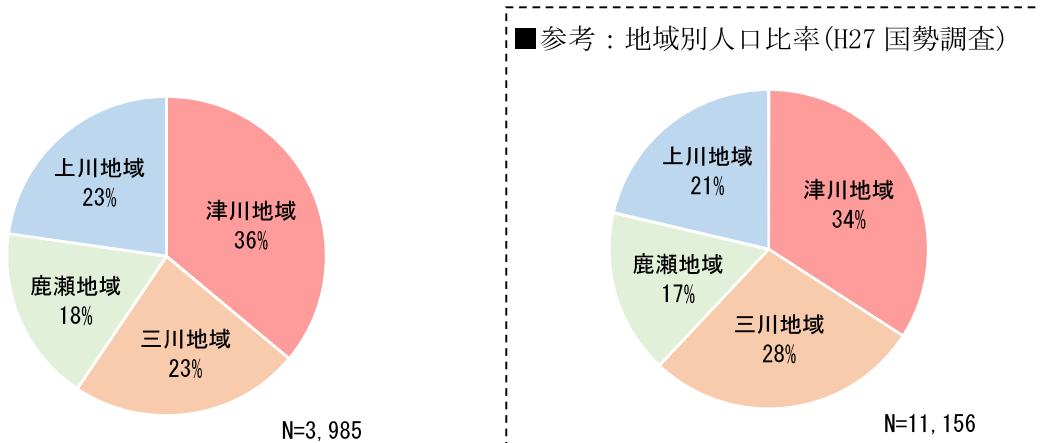
調査種別	住民アンケート	利用者アンケート
目的	○外出の有無や外出目的別の目的地など行動範囲を把握するとともに、その移動手段としての公共交通の利用状況や問題点・改善要望を把握する。	○公共交通の利用状況や問題点・改善要望を把握する。 ※実際に公共交通を利用している人の意見の把握。
対象	○全世帯（15歳以上）	○公共交通利用者
配布枚数	○4,804世帯 ※1世帯に3通配布	○487部 ・244部（鉄道・路線バス） ・233部（福祉バス） ・10部（高速バス（阿賀町バス））
回収状況	○2,685世帯（55.9%） ○回収数：5,047部	○257部（52.8%）
配布時期	○平成29年8月3日（木） ～平成29年8月10日（木）	○平成29年7月14日（金） ・鉄道、路線バス、高速バス（阿賀町バス） ○平成29年7月18日（火） ～平成29年8月4日（金） ・福祉バス
調査内容	○外出状況（町内・町外） ○公共交通（バス）の利用状況・改善要望 ○運行見直しについて ○公共交通（鉄道）の利用状況・改善要望 ○公共交通（タクシー）の利用状況 ○自由意見 ○個人属性	○公共交通の利用状況・改善要望 ○運行見直しについて ○個人属性

2. 住民アンケートの調査結果

(1) 回答者の属性

○地域別回答比率を平成 27 年の国勢調査の結果と比較すると、三川地域の回答がやや少なく、それ以外の地域の回答がやや多くなっています。

○同様に、年齢別人口比率と比較すると高齢者の回答割合が高いです。



※平成 27 年の国勢調査の母数 N は、年齢不詳と 10 歳未満の人口を除いた数値

(2) 阿賀町内の外出状況

① 外出先と外出目的

○ほとんどの町民が最近 1 か月間のうちに外出をしています。

○各目的別の外出先を見ると、「津川地域」は全ての目的で回答が多くなっています。「通勤」や「入浴」は、他の目的と比較して、目的地が各地域に分散しています。

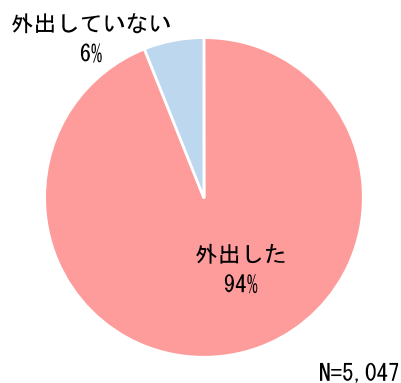


図 最近 1 か月間での外出の有無

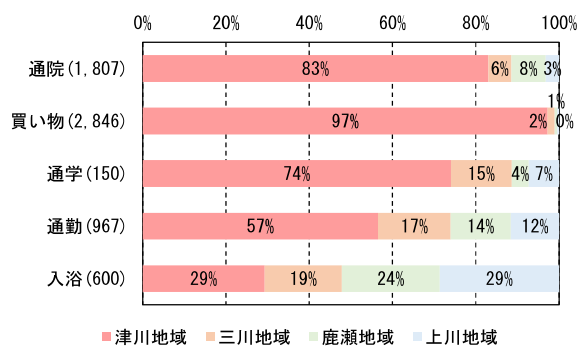


図 各目的別の外出先

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

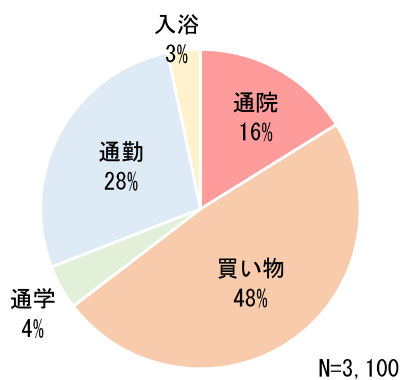


図 最も多い外出目的

②町内における移動状況

■通院

- 通院は、どの地域も津川地域への移動が多くなっていますが、地域内の医療機関へ行く住民もいます。
- 目的地となる施設は、どの地域も津川病院が最も多く、次いで地域内の医療機関が多くなっています。

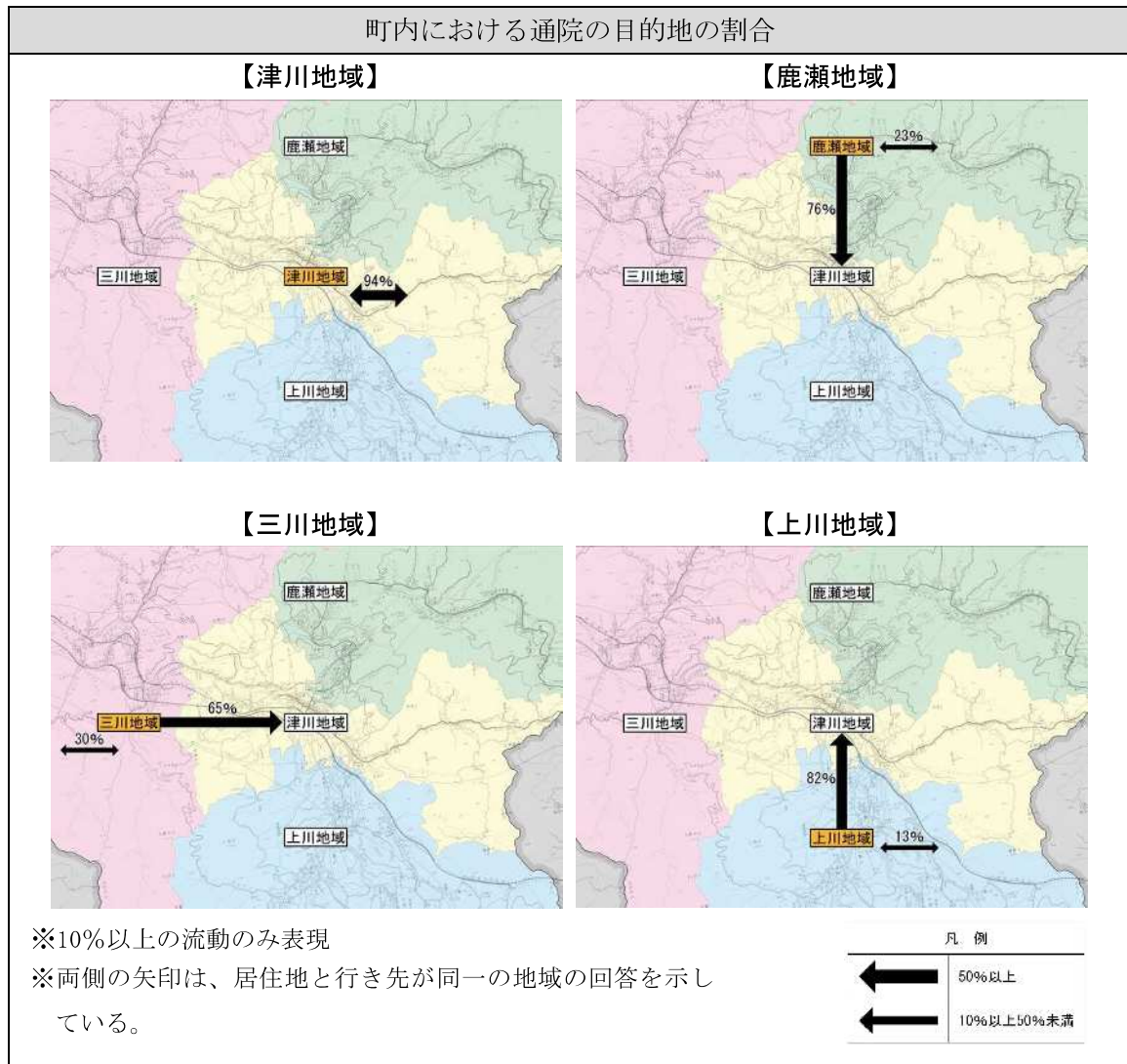


表 地域別の主な目的地

地域	施設名
津川地域	津川病院、渡辺医院
三川地域	津川病院、みかわ診療所
鹿瀬地域	津川病院、鹿瀬診療所
上川地域	津川病院、上川診療所

■参考：通院における各地域の流動（詳細）

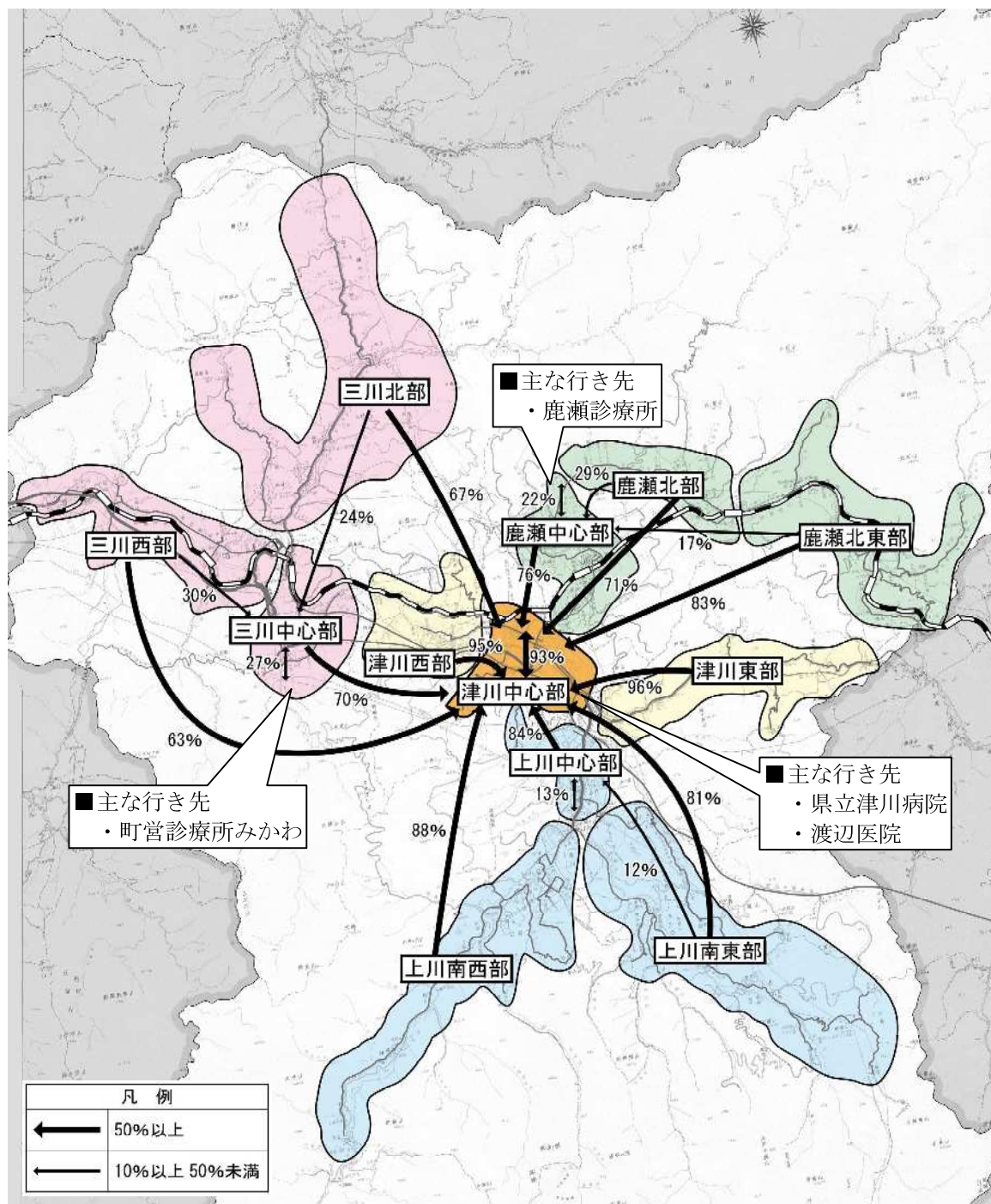
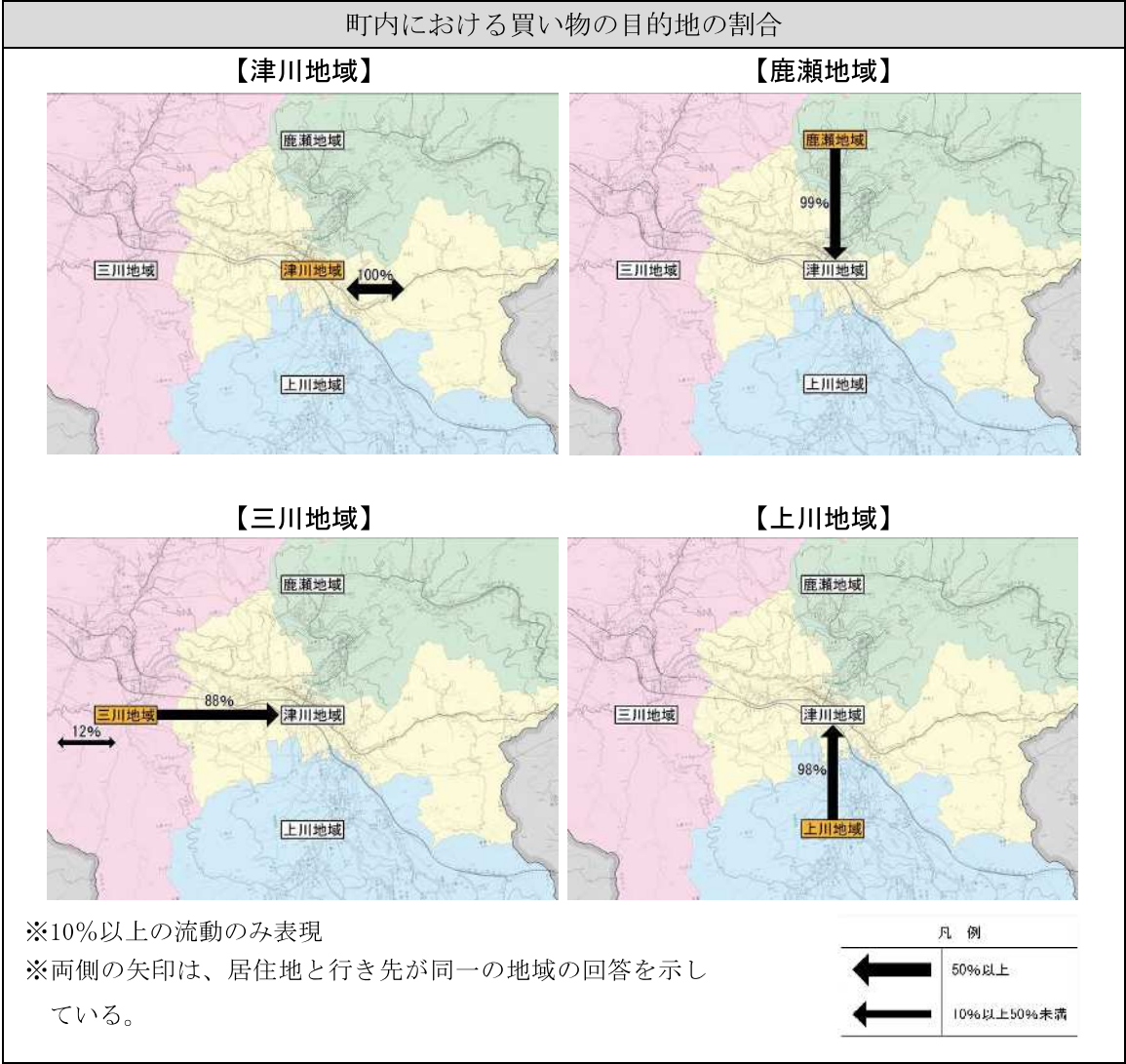


図 通院の流動状況

※母数は各集落別としている

■ 買い物

- 買い物は、どの地域も津川地域への移動が多くなっています。
- 目的地となる施設は、どの地域もカラオケ・コメリ、かわちやが多くなっています。



■参考：買い物における各地域の流動

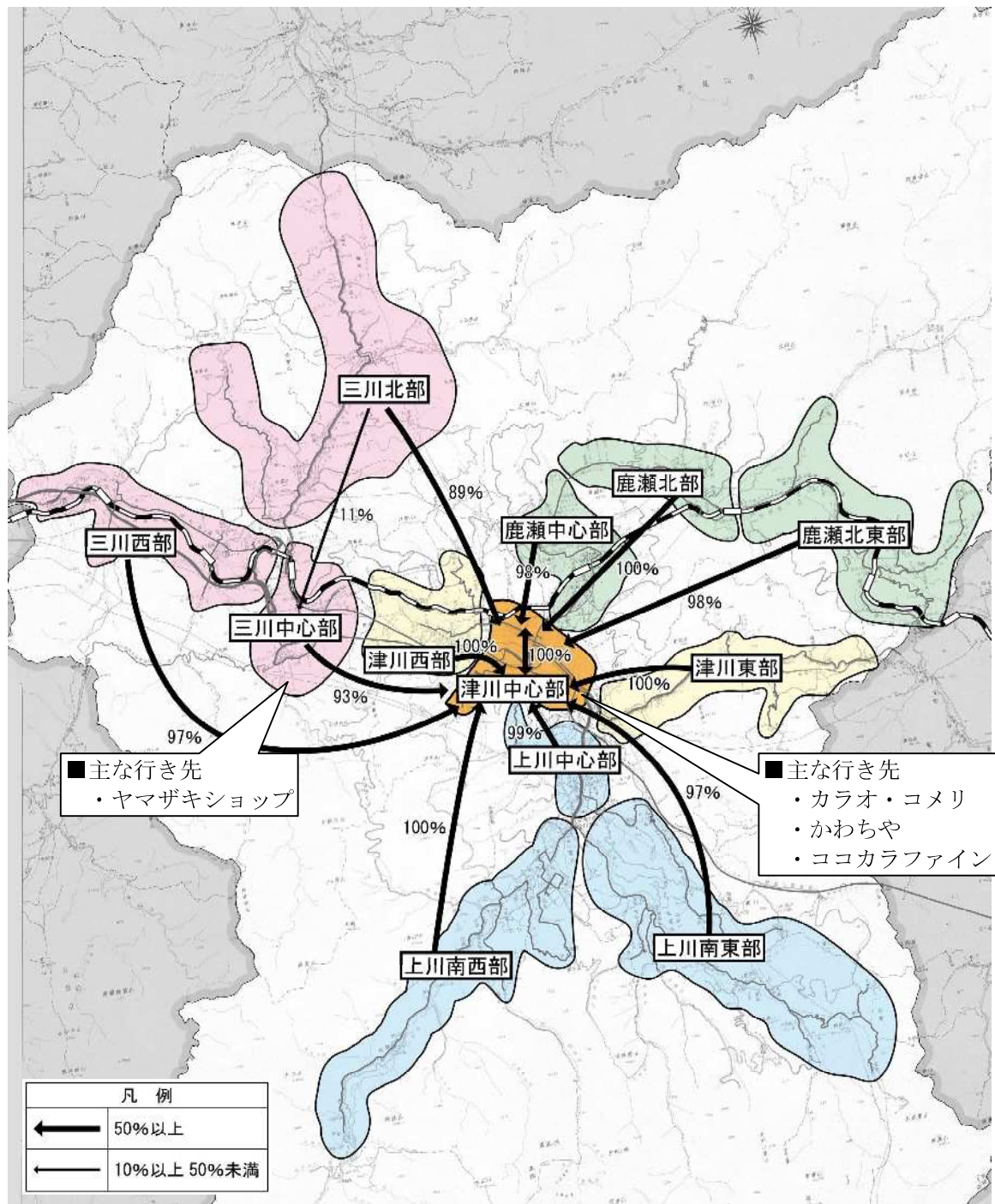


図 買い物の流動状況

※母数は各集落別としている

【町内における公共交通利用者の外出先】

1) 通院

○路線バス利用者も福祉バス利用者も県立津川病院が他の医療施設と比較して多くなっています。他には、津川地域の渡辺医院や鹿瀬地域の鹿瀬診療所、三川地域の町営診療所みかわが回答されています。

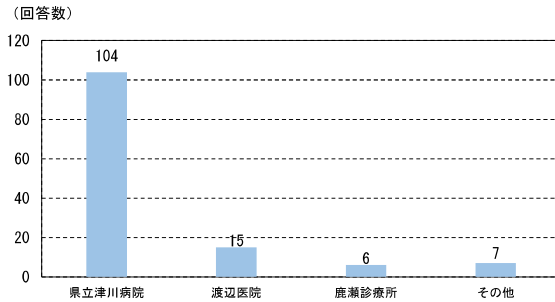


図 路線バス利用者の行き先（複数回答）

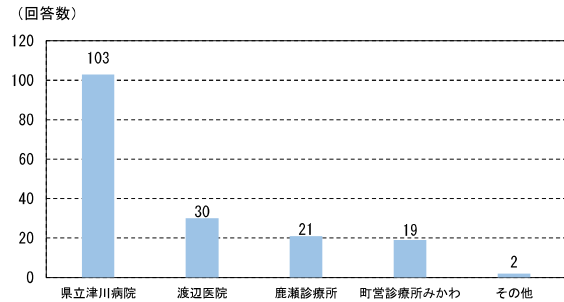


図 福祉バス利用者の行き先（複数回答）

※通院する際の交通手段の設問は、複数回答のため同じ人の回答が路線バスと福祉バスの両方に含まれている場合もある

2) 買い物

○路線バス利用者も福祉バス利用者もカラオ・コメリが他の商業施設と比較して多くなっています。また、回答のほぼ全てが津川地域内の商業施設となっています。

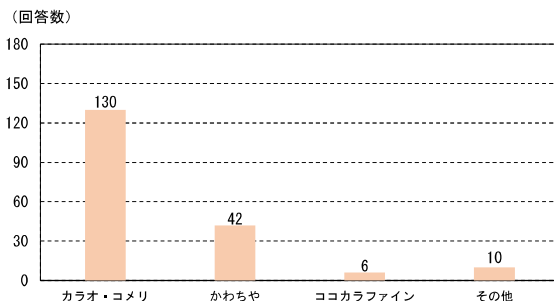


図 路線バス利用者の行き先（複数回答）

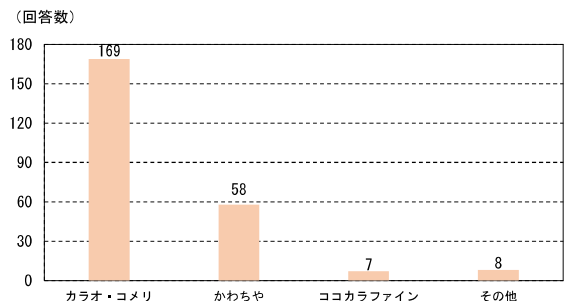


図 福祉バス利用者の行き先（複数回答）

※カラオ、コメリは隣接しているため1つの施設として集計

※買い物する際の交通手段の設問は、複数回答のため同じ人の回答が路線バスと福祉バスの両方に含まれている場合もある。

②町内の最も多い外出目的の移動について

○目的別に外出頻度を見ると、「通院」は他の目的と比較して外出頻度が低くなっています。「買い物」は、「週に2、3回程度」が多くなっています。

○外出する際の移動手段は、「自家用車」、「家族の送迎」の順に多いです。町内の公共交通交通の中では、「福祉バス」が最も多くなっています。

○外出する際の時間帯は、出発時間帯は、どの目的も午前中に集中しています。「買い物」と「入浴」は他の目的と比較して「午後」がやや多くなっています。

○帰宅時間帯は、通院や買い物は「12時～15時」が多いですが、「通学」、「通勤」、「入浴」は15時以降が多くなっています。

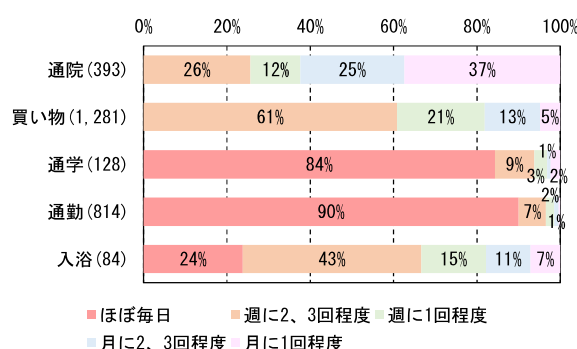


図 目的別の外出頻度

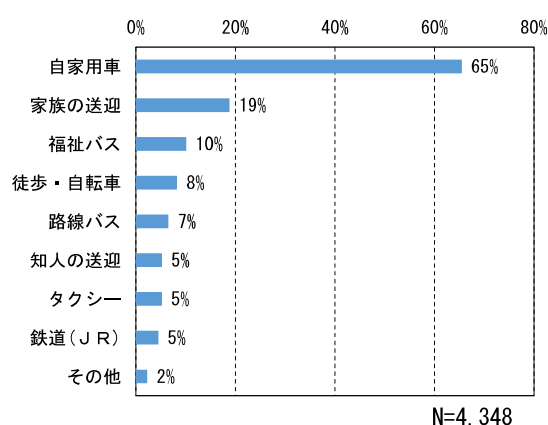


図 移動手段(複数回答)

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

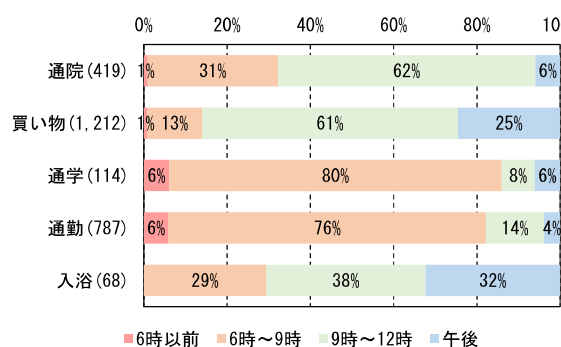


図 出発時間帯

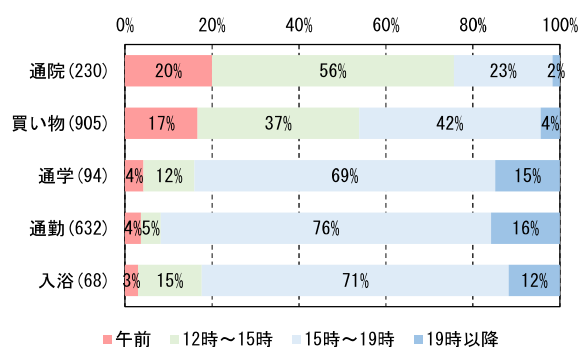


図 帰宅時間帯

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

③主な外出目的以外で行く事が多い施設

○主な外出目的以外で行く事が多い施設は、「コンビニ」、「第四銀行津川支店」、「津川郵便局」の順で多くなっています。

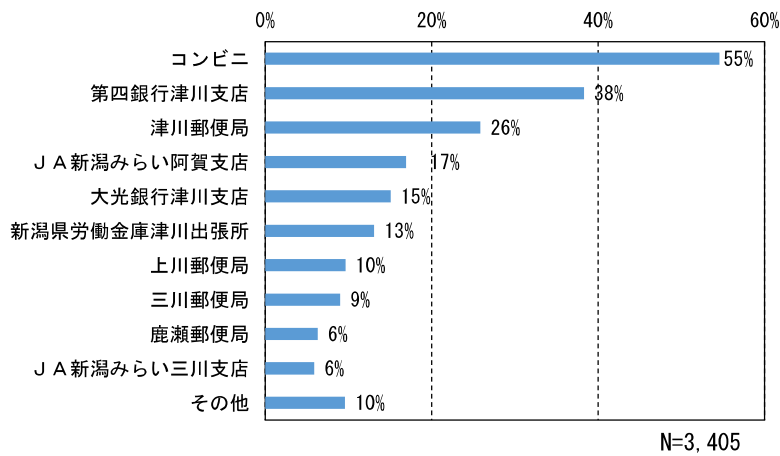


図 主な外出目的以外で行く事が多い施設(複数回答)

④外出する時に、2箇所以上の場所へ行く場合の目的地

○町民が2箇所以上の場所へ行く場合に目的地としている施設は、「カラオ・コメリ」、「かわちや」、「ココカラファイン」の順に多く、町の中心部の商業施設が他の回答と比較して非常に多くなっています。また、回答の多くが町の中心部に立地している施設がほとんどとなっていることから、2箇所以上の施設の回答の組み合わせも、ほとんどが町の中心部の施設となっています。

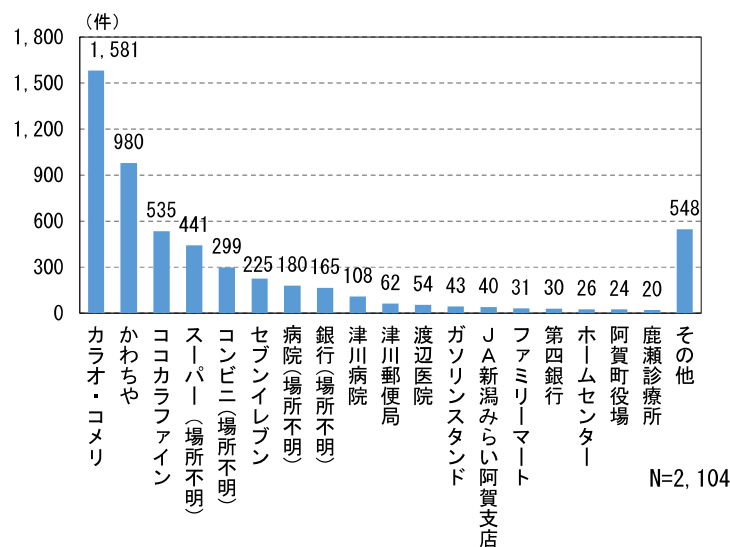


図 2箇所以上施設を訪れる際の目的地(複数回答)

※20件以上回答があった施設を記載

※カラオとコメリは施設が隣接しているため1つの施設として集計

※場所不明は「病院」、「スーパー」等と記入されていて施設名が特定できなかった回答

(3) 町外への外出状況

① 外出先と外出目的

○町外へ行く際の外出目的は、「新潟市」、「五泉市」、「阿賀野市」の順で多くなっています。

○各目的別の外出先を見ると、「新潟市」は全ての目的で回答が多くなっています。「通学」は他の目的と比較して、目的地が「新潟市」と「五泉市」に集中しています。

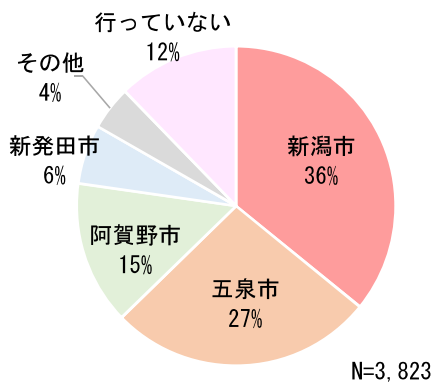


図 目的地

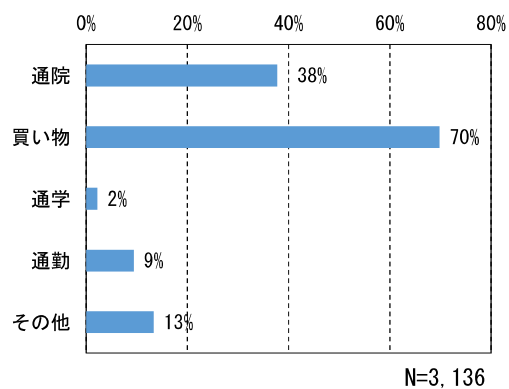


図 外出目的(複数回答)

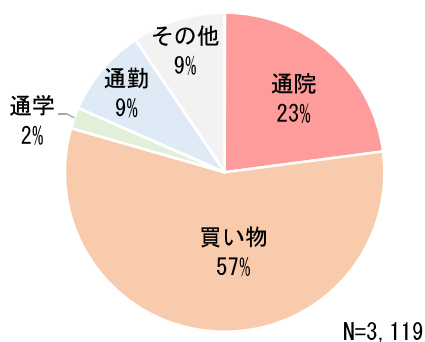


図 最も多い外出目的

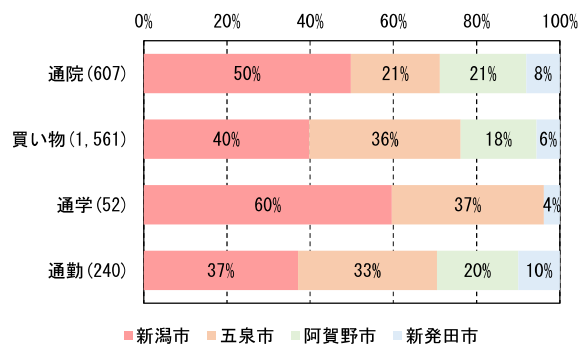


図 各目的別の外出先

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

②最も行く事が多い市町村への移動について

○目的別に外出頻度を見ると、「通院」は他の目的と比較して外出頻度が低くなっています。「買い物」は、「月に2、3回程度」が多くなっています。

○外出する際の移動手段は、「自家用車」、「家族の送迎」の順に多いです。町内の公共交通の中では、「鉄道」が最も多くなっています。

○外出する際の時間帯は、出発時間帯は、どの目的も午前中に集中しています。

○帰宅時間帯は、「通院」は「12時～15時」が多いですが、その他の目的は15時以降が多くなっています。

○地域別の町外への移動は、どの地域も新潟市、五泉市、阿賀野市が多くなっていますが、三川地域は五泉市への移動が最も多く、他の地域とは異なり新発田市へ行く町民が18%います。その他の地域は新潟市が最も多くなっています。

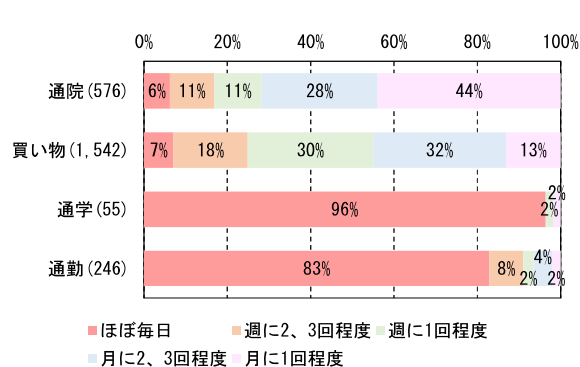
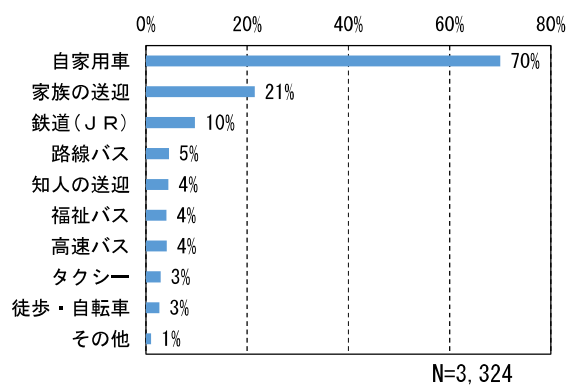


図 目的別の外出頻度



N=3,324

図 移動手段(複数回答)

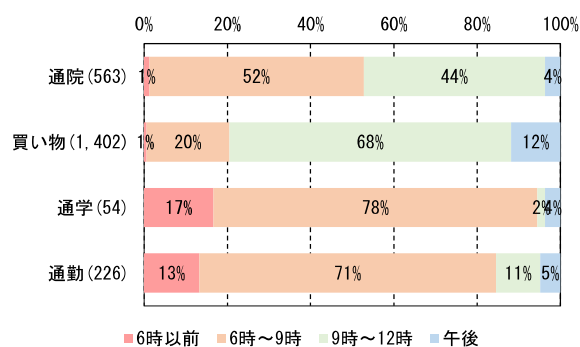


図 出発時間帯

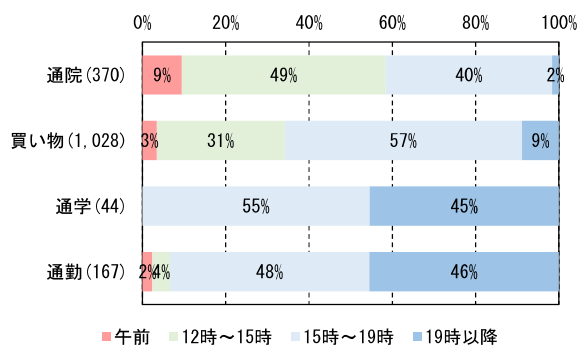
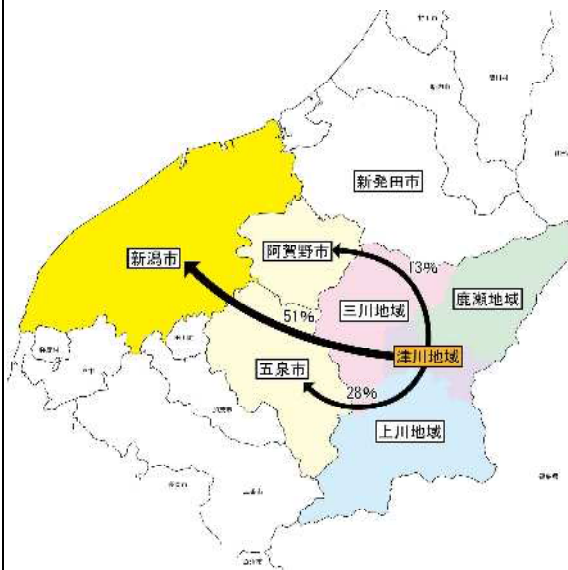


図 帰宅時間帯

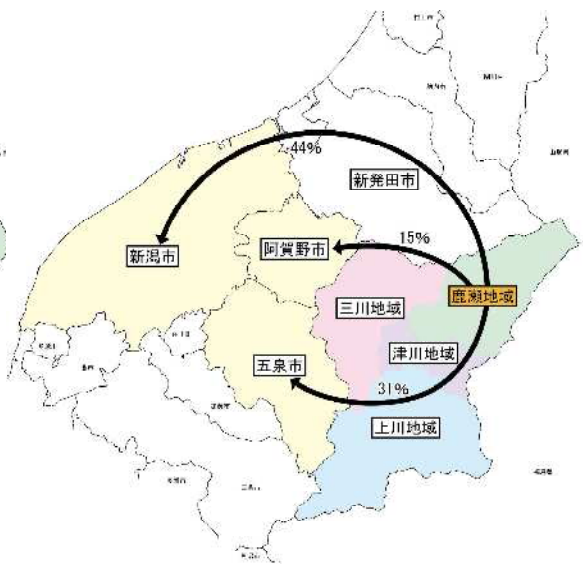
※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

町外の移動の目的地の割合

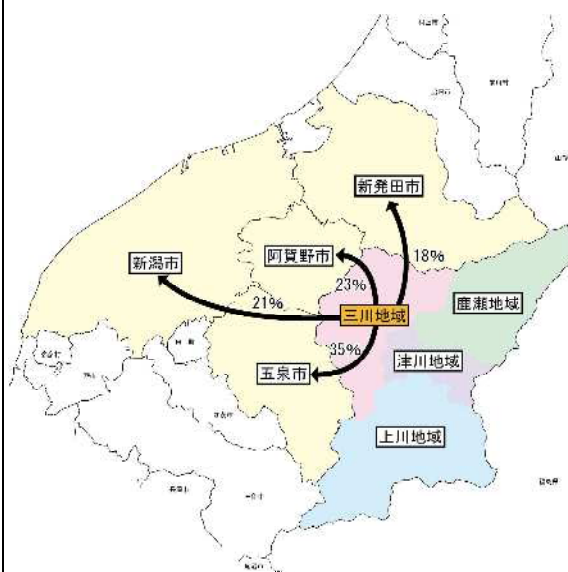
【津川地域】



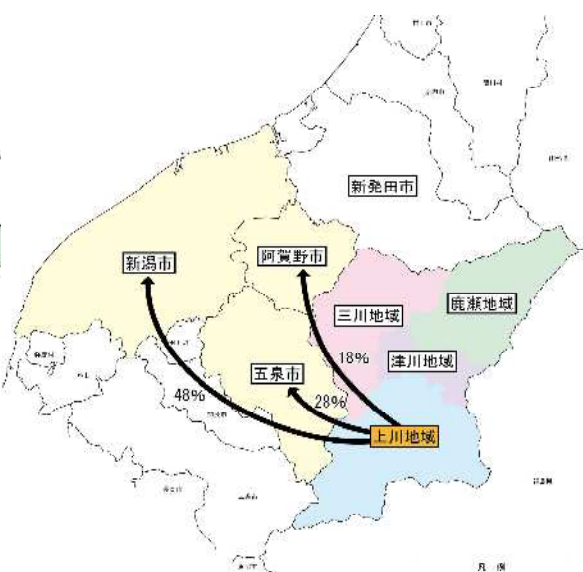
【鹿瀬地域】



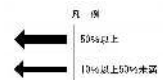
【三川地域】



【上川地域】



※5%以上の市町村のみ表現



(4) 外出をしない理由

○外出をしていないと回答した理由は、「家族・知人が代わりに買い物などをしてくれるから」が多くなっています。

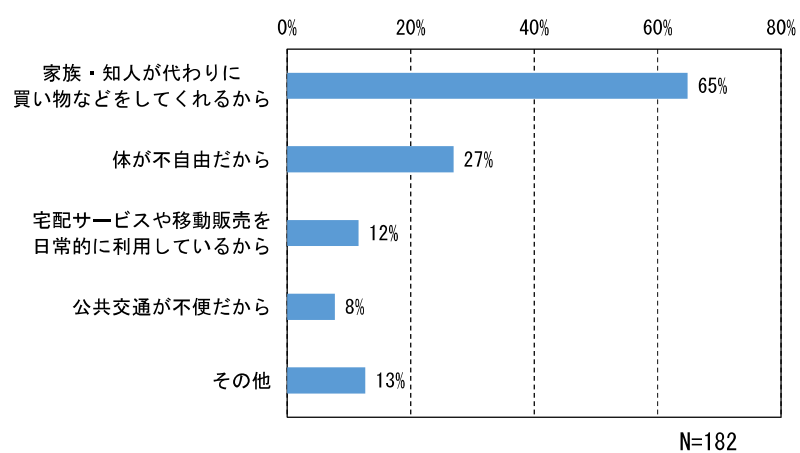


図 外出をしない理由(複数回答)

(5) バスの利用状況

①利用頻度と最もよく利用するバス

○回答者の27%がバスの利用をしており、うち週に1回以上バスを利用しているのは6%です。

○最も多く利用するバスは、「路線バス」、「福祉バス」の順で多くなっています。

○最も多く利用するバス別に利用頻度を見ると、週に1回以上利用しているという回答が最も多いのは「福祉バス」となっています。

○年齢別に利用頻度を見ると、10歳代と75歳以上の利用頻度が多くなっています。

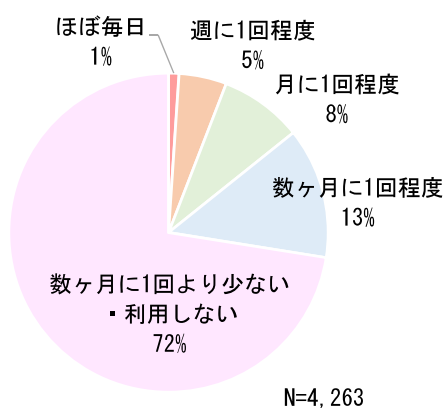


図 バスの利用頻度

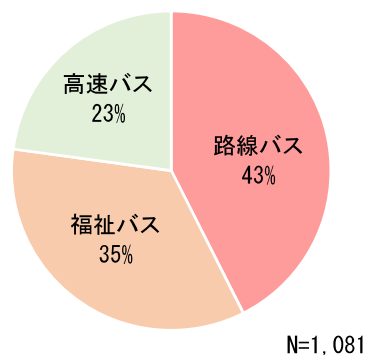


図 最も多く利用するバス

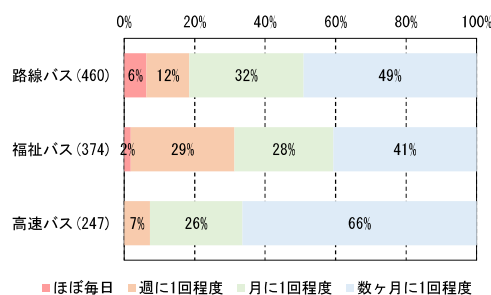


図 最も多く利用するバス別の利用頻度

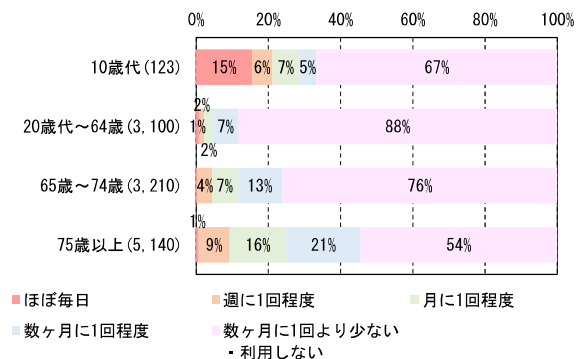


図 年齢別の利用頻度

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

③最も多く利用するバスの満足度

○どのバスも「大変満足」、「満足」と回答している町民が半数以上となっていて、「不満」、「大変不満」と回答している町民はほとんどいません。

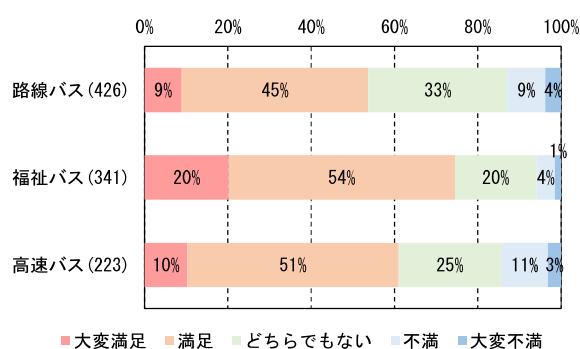
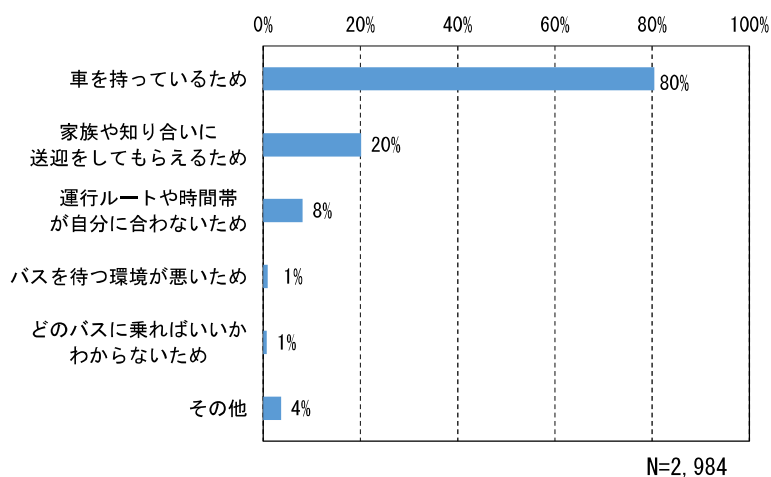


図 バスの満足度

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

④バスを利用しない理由

○バスを利用しない理由は、「車を持っているため」、「家族や知り合いに送迎をもらえるため」の順で多くなっています。バスの運行内容や利用環境が良くないという理由は少ないです。



N=2,984

図 バスを利用しない理由(複数回答)

⑤バスの改善要望

○バスの改善要望は、「割引サービスの導入」、「分かりやすい路線図や時刻表を提供」、「利用しやすい時刻に変更する」の順で多くなっています。バス別に傾向をみると、路線バスは、「利用しやすい時刻に変更」、「乗り降りするときの段差が小さいバスを導入」、「分かりやすい路線図や時刻表を提供」が多くなっています。

○福祉バスは、「乗り降りするときの段差が小さいバスを導入」、「土日祝日の運行」「分かりやすい路線図や時刻表を提供」が多くなっています。

○高速バスは、「分かりやすい路線図や時刻表を提供」、「行き先を変える」「利用しやすい時刻に変更」の順が多くなっています。

○バス非利用者は、「割引サービスの導入」、「分かりやすい路線図や時刻表を提供」、「利用しやすい時刻に変更」の順が多くなっています。

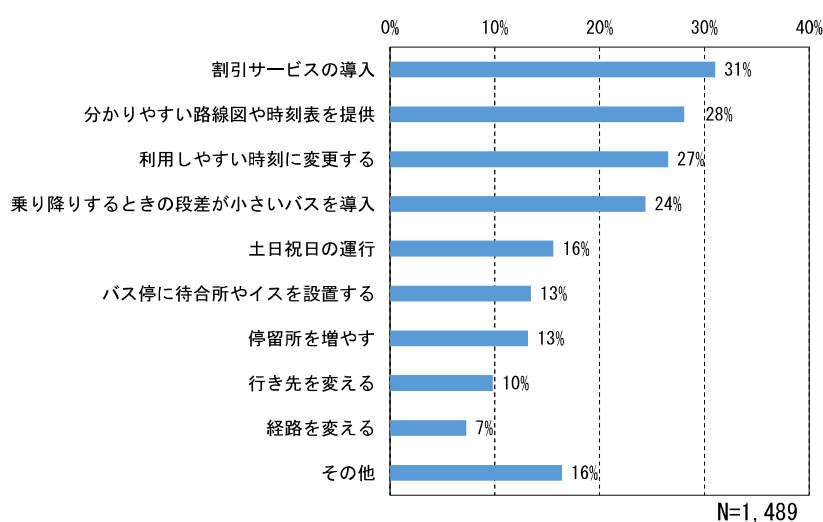


図 バスの改善要望(複数回答)

表 バス別の改善要望(複数回答)

項目	割引サービスの導入	分かりやすい路線図や時刻表を提供	利用しやすい時刻に変更	段差が小さいバスを導入	土日祝日の運行	バス停に待合所やイスを設置	停留所を増やす	行き先を変える	経路を変える	その他
路線バス(224)	14%	21%	33%	27%	4%	19%	14%	8%	8%	17%
福祉バス(166)	1%	20%	13%	27%	22%	16%	11%	10%	6%	11%
高速バス(138)	23%	30%	25%	22%	23%	9%	18%	28%	9%	16%
バスを利用していない(908)	43%	32%	28%	23%	16%	12%	12%	7%	7%	17%

□:利用環境に関する項目 □:運行内容に関する項目

⑥実施しても良い見直し内容

- 利用者が少ないバスに対して実施しても良い運行見直しは、「予約制の運行」と「バスの運行日を減らす」を比較すると、「予約制の運行」がやや多くなっています。
- 地域別、タクシーの利用の有無別に見ても傾向はほぼ同じとなっています。
- 年齢別に見ると、年齢が若ければ若いほど「予約制の運行」と回答している町民がやや多くなっています。
- バスの利用頻度別に見ると、利用頻度が高ければ高いほど「予約制の運行」と回答している町民がやや多くなっています。

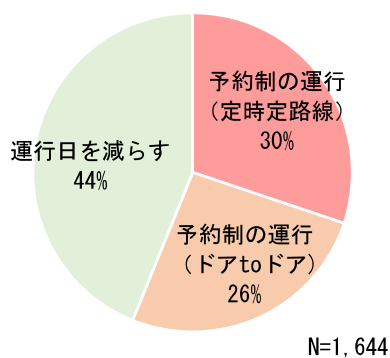


図 実施しても良い運行見直し

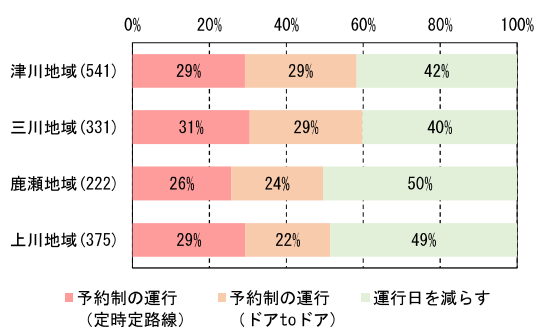


図 地域別の比較

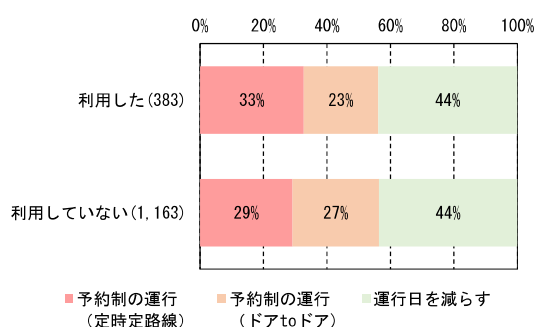


図 タクシーの利用の有無別の比較

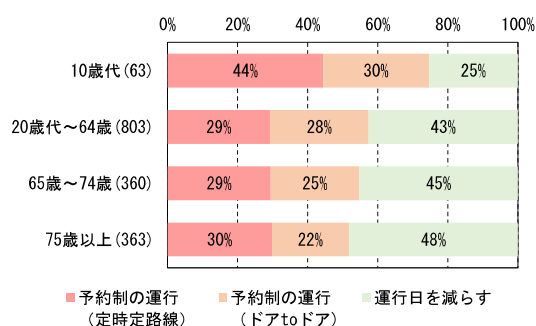


図 年齢別の比較

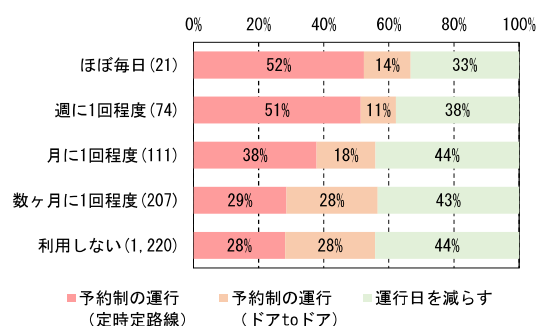


図 バスの利用頻度別の比較

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

(6) 鉄道の利用状況

①利用頻度

○回答者の39%が鉄道の利用をしており、うち週に1回以上鉄道を利用しているのは4%です。

○年齢別に見ると、10歳代の利用頻度が最も高くなっています。

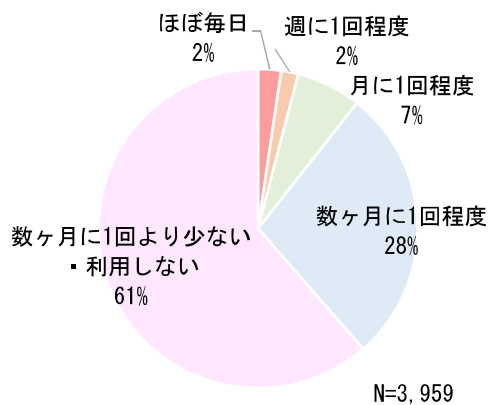


図 鉄道の利用頻度

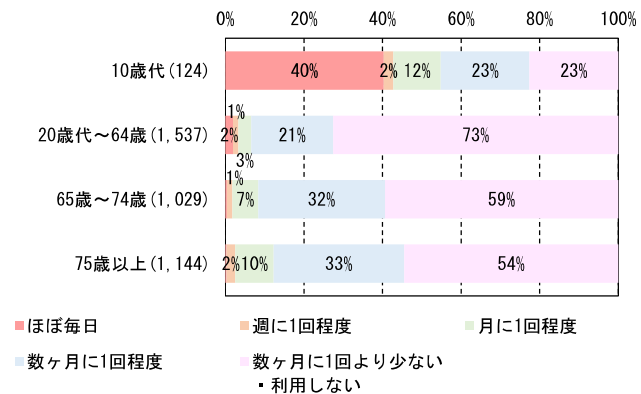


図 年齢別の利用頻度

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

②最も多く利用する駅

○最も多く利用する駅は、「津川駅」が半数以上となっています。

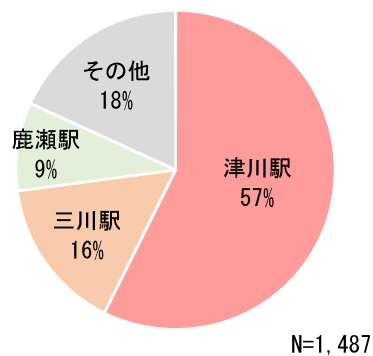


図 最も多く利用する駅

③駅の改善要望

- 駅の改善要望は、「路線バスとの接続を改善する」、「駅の階段・段差の解消」がほぼ同数で多くなっています。
- 駅別に見ると、津川駅は「駅の階段・段差の解消」が最も多く、三川駅、鹿瀬駅は、「路線バスとの接続を改善する」が最も多くなっています。
- 「路線バスとの接続を改善する」と回答した町民の住所は、「津川地域」がやや多いですが、どの地域も一定数の回答があります。
- 同様に、「路線バスとの接続を改善する」と回答した町民の鉄道の利用頻度を見ると、鉄道を利用している町民が約半数となっています。

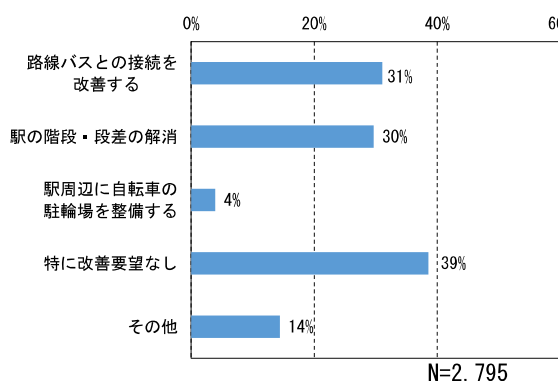


図 駅の改善要望(複数回答)

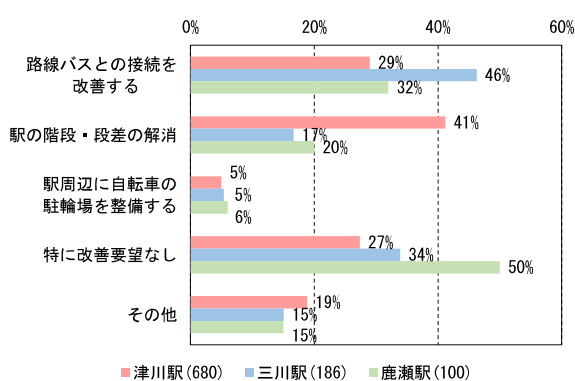


図 駅別の改善要望(複数回答)

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

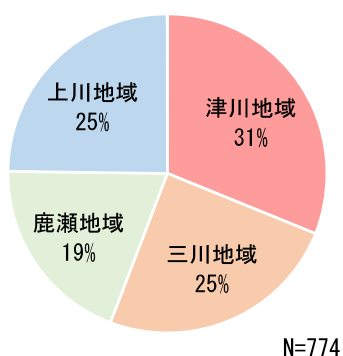


図 「路線バスとの接続を改善する」と回答した町民の住所

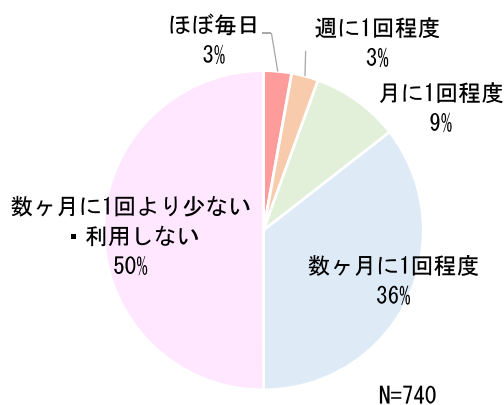


図 「路線バスとの接続を改善する」と回答した町民の利用頻度

(7) タクシーの利用状況

① タクシーの利用の有無

○最近1年間でタクシーを利用した人は、26%となっています。

○送迎をお願いできる人の有無別に見ると、タクシーの利用は、「送迎をお願いできる人はいない」と回答した人が利用していない町民と比較して多くなっています。

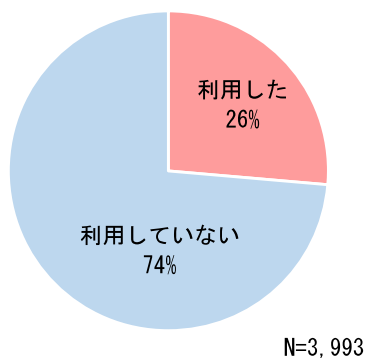


図 タクシーの利用の有無

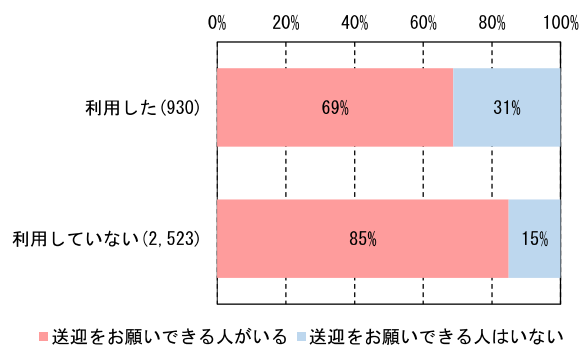


図 送迎をお願いできる人の有無別の比較

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

② タクシーを利用した理由

○タクシーを利用した理由は、「利用したい時間にバスが無いとき」、「家族に送迎をしてもらえないとき」がほぼ同数で多くなっています。

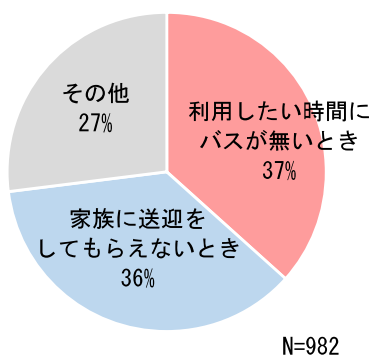


図 タクシーを利用した理由

(8)送迎をお願いできる人の有無

- 20%の町民は、送迎をお願いできる人がいません。
- 地域別に見ると、鹿瀬地域がやや多くなっています。
- 運転免許証を持っていない、送迎をお願いできる人もいない町民は、23%（265人）となっています。

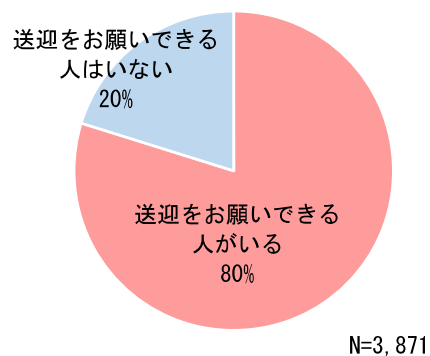


図 送迎をお願いできる人の有無

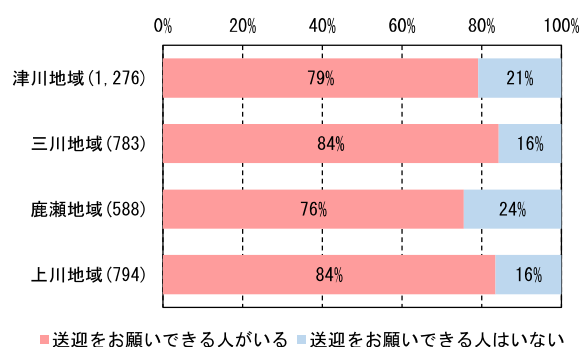


図 地域別の比較

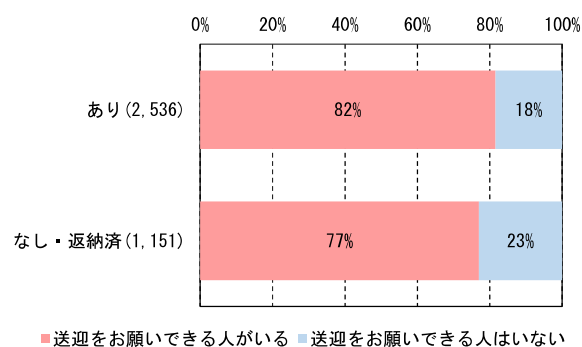


図 運転免許証の有無別の比較

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

(9) 運転免許証が無く、送迎をお願いできる人もいない町民の状況

○運転免許証が無く、送迎をお願いできる人もいない町民も 90%以上が外出をしています。

○年齢別に見ると、88%が高齢者となっています。

○バスの利用頻度を全体の回答と比較すると、バスを利用している町民が 82%となっています。同様に、鉄道の利用頻度を見ると、72%が鉄道を利用しています。

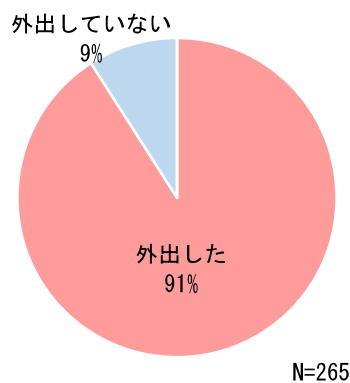


図 外出の有無

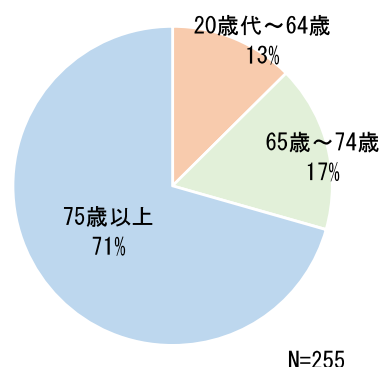


図 年齢

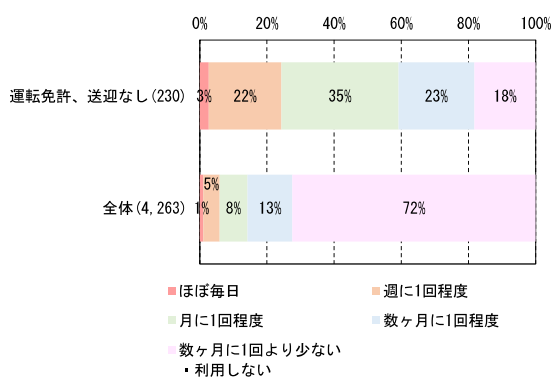


図 バスの利用頻度

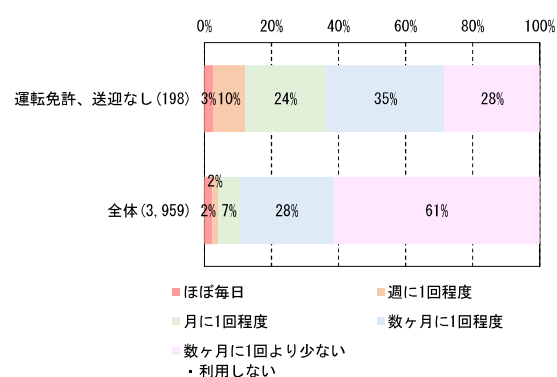


図 鉄道の利用頻度

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

(10) 自動車運転免許の有無と個人で所有している乗り物

- 自動車運転免許を「なし」、「返納済」と回答している町民は 29%となっています。
- 個人で所有している乗り物を「無し」と回答している町民は 13%となっています。
- 年齢別の自動車の保有率は、20 歳代～64 歳の町民は 94%が、65 歳～74 歳は 85%が自動車を保有しています。また、75 歳以上の後期高齢者も 55%が自動車を保有しています。
- 免許の保有率は、20 歳代～64 歳の町民は 95%が、65 歳～74 歳は 85%が自動車を保有しています。また、75 歳以上の後期高齢者も 56%が自動車を保有しています。
- 地域別では、鹿瀬北部地域と上川地域南西部は免許を持たない人が多いです。

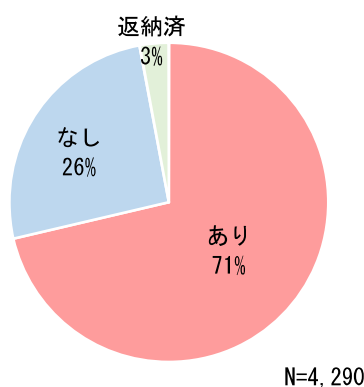


図 運転免許の保有

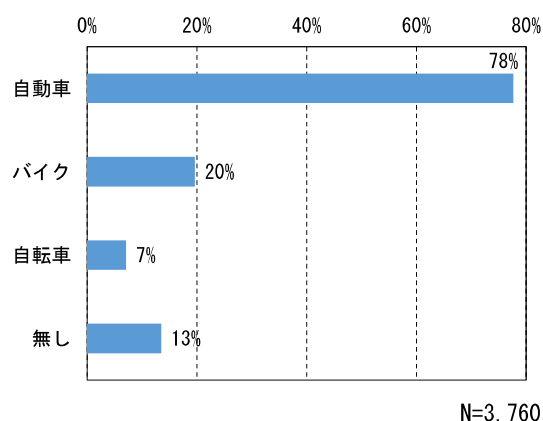


図 個人で所有している乗り物(複数回答)

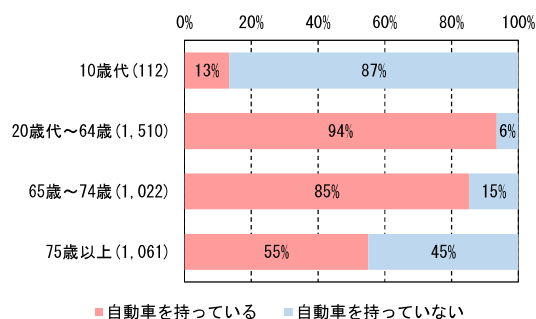


図 年齢別の自動車保有状況

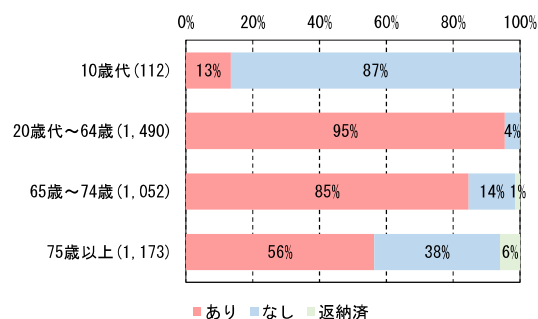


図 阿賀町の運転免許保有者数

※ () 内の数字は回答者数

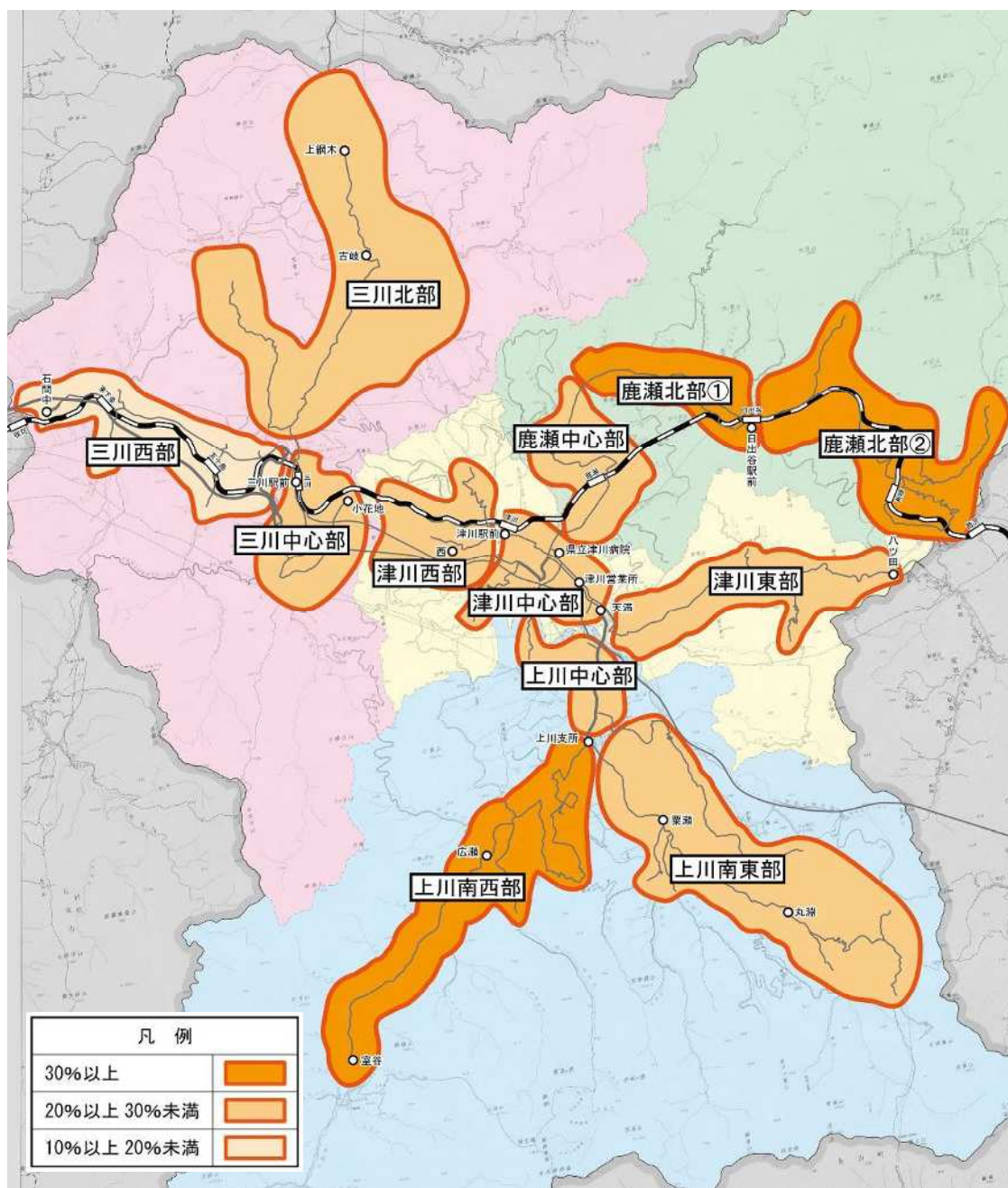


図 運転免許証を持っていない割合（地域別）

(11) 自由記述

○自由記述の内容を分類すると、「バスの運行内容の改善」、「公共交通に対する考え・感想など」、「新たな公共交通の導入」の順に多くなっています。

表 自由記述の分類

分類	件数
バスの運行内容の改善	348
公共交通に対する考え・感想など	121
新たな公共交通・制度の導入	93
公共交通の維持	81
バスの利用環境の改善	58
タクシーの運行内容の改善	17
駅の設備の改善	14
鉄道の運行内容の改善	10
その他	96
合計	838

※特になし、わからない等の記述は集計から除外

■各項目の記述内容の抜粋

【バスの運行内容の改善 348 件(以下抜粋)】

地域	年齢	公共交通の利用	内容
津川地域	10 歳代	あり	高齢者の福祉バス・高速バスにばかり力を入れず、平等にしてほしい。(若い世代も) 福祉バスもなんでも無料でなく協力金を少しもらった方がよい。
津川地域	65 歳～74 歳	あり	鉄道と路線バスとの接続を改善して下さい。一度バスが電車に間に合わずそれ以来断念(利用を)しました。駅から帰路のタクシー料金は高額です。
津川地域	75 歳以上	あり	昔は高速バス利用で新潟駅まで行けて大変良かったです。以前の様に新潟駅まで運行して頂きたいです。
鹿瀬地域	75 歳以上	あり	後期高齢者、足腰負担あり、買物困難者でもあり、徒歩大変、停留所まで現在地では遠すぎるため不便です。停留所を増設してほしい。乗車率も日によって増減もあると思いますが、その点を考慮し検討を希望致します。
上川地域	65 歳～74 歳	なし	路線バスが乗客なしで運行していることが多い。福祉バスとのダイヤ編成を含め、効率的に経済的に運行してほしい。
三川地域	65 歳～74 歳	あり	現在福祉バスを無料で運行していますが、今後維持していくためにも、運賃を徴収した方がよいのではないのでしょうか

※明らかな誤字は修正して記載

【公共交通に対する考え・感想など 121 件(以下抜粋)】

地域	年齢	公共交通の利用	内容
津川地域	20 歳代～64 歳	なし	今の自分は車を運転しているので特に不便はないが高齢者に優しい改善をお願いしたい。
鹿瀬地域	75 歳以上	あり	私は一人暮らしで何も運転できないので町の福祉バスがなによりの頼りです。助かります。
上川地域	20 歳代～64 歳	なし	路線バスは乗客なしで空廻りしているのをよく目にする。もったいない気がする。
上川地域	20 歳代～64 歳	あり	人が減り、運営はきびしいと思いますが、高齢化する中で、交通手段は安心して生活するためにとっても大切なものだと思う。阿賀町が暮らしやすく次世代の定住のためにも力をいれてほしい課題です。
三川地域	20 歳代～64 歳	なし	今は利用していないので、状況がわからない。免許を返納してからの移動には不安がある。

※明らかな誤字は修正して記載

【新たな公共交通・制度の導入 93 件(以下抜粋)】

地域	年齢	公共交通 の利用	内容
津川地域	65 歳～74 歳	あり	予約制、有料でも良いが乗降場所が自由な運行。 予約制は有線 TV (広報 TV) で予約できるようなものにする。 イベントなどの予約申し込みとできたら尚便利。
鹿瀬地域	20 歳代～64 歳	なし	自分で運転できなくなる時が何年先になるのかわかりません。そんな時が来たら家まで来てくれるタクシーは利用できないでしょうか。乗合タクシーで病院、スーパー、銀行など数人で一緒に行けばバスより少し料金が高くても便利ではないかと思います。
鹿瀬地域	65 歳～74 歳	なし	町内はワンコインバスの運行を検討し、町外については個人対応。(町外については高齢者に経費補助)
上川地域	20 歳代～64 歳	なし	学生が乗るよう親の送迎をしなくてもよいよう、下校時刻、部活終了を合わせて低料金でスクールバスのような形にする ワンコインバス、福祉バスと路線バス一本化、低料金、ニーズを確認する。
三川地域	20 歳代～64 歳	なし	集落が点在している地域なので、全ての人が利用できるバス運行は難しいと思うので、予約運行システムを構築して運行をタクシー会社に委託するなどを検討すべきではないかと思う

※明らかな誤字は修正して記載

【公共交通の維持 81 件(以下抜粋)】

地域	年齢	公共交通の利用	内容
津川地域	75 歳以上	なし	今のところ利用していないが存続を望む。自動車運転。免許返納後は町の公共交通に頼るしかない。
津川地域	65 歳～74 歳	あり	今のところ新潟方面に行く病院などの予定はないのですが少し前は病院（新潟）行く用何回も高速バスを利用して大変助かりました。高速バスの方が、乗り換えをしなくてはいけない鉄道よりいいのです。病院行き的高速バスはぜったい無くさないでください！
津川地域	75 歳以上	あり	福祉バス運行に感謝しています。是非継続を願います。
鹿瀬地域	75 歳以上	なし	免許証を返納したあとの生活が心配です。通院、買い物、運動、趣味などが続けられるよう、お願いいたします。運賃の負担も構いません。
上川地域	20 歳代～64 歳	なし	今現在は運転していて交通機関を利用していないが、これから年をとって運転できなくなった時が不安なので、全くなすのだけはさけてほしい。

【バスの利用環境の改善 58 件】

地域	年齢	公共交通の利用	内容
津川地域	65 歳～74 歳	なし	新潟交通の大型バスが朝、駅から数台出ているが、いつも人が乗っていない。もったいない。せめて小型化で運用できないのか。
津川地域	75 歳以上	あり	乗降する際にバスの階段が高く不安で利用できない。乗客がほとんど居ない大型バスはもったいない。
鹿瀬地域	20 歳代～64 歳	あり	町の公共交通機関としてどのような手段があるかが、不明です。もっと広報をしっかりと移住してきた人でも分かるようにしてほしいと思います。町役場のホームページにも記載してありますが、分かりづらいです。
三川地域	20 歳代～64 歳	あり	バス停で待つのがつらいです。できれば雨風をふせげるようにしてほしいですね。

※明らかな誤字は修正して記載

【タクシーの運行内容の改善 17 件(以下抜粋)】

地域	年齢	公共交通 の利用	内容
鹿瀬地域	75 歳以上	あり	高齢者にタクシー割引券等を発行してもらいたい。80 歳で免許返納予定ですから。
上川地域	75 歳以上	あり	老人はタクシー代が高くて乗れない

【駅設備の改善 14 件(以下抜粋)】

地域	年齢	公共交通 の利用	内容
鹿瀬地域	65 歳～74 歳	あり	津川駅ホームの階段を解消してほしい。(エレベーターの設置、あるいは踏切方式)
津川地域	10 歳代	あり	駅に駐車場がない。駅の階段は高齢者にはきついと思う

【鉄道の運行内容の改善 10 件(以下抜粋)】

地域	年齢	公共交通 の利用	内容
津川地域	10 歳代	あり	電車の本数を増やしてほしい
三川地域	10 歳代	あり	夜間の新潟発の電車が阿賀町まで来ないので改善して欲しい

※明らかな誤字は修正して記載

3. 利用者アンケートの調査結果

(1) 回答者の属性

○地域別回答比率を平成 27 年の国勢調査の結果と比較すると、三川地域の回答がやや少なく、鹿瀬地域・上川地域の回答がやや多くなっています。

○同様に、年齢別人口比率と比較すると高齢者の回答割合が高いです。

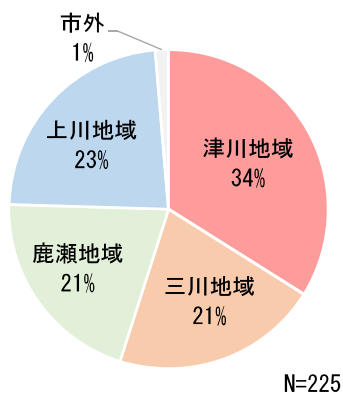


図 地域別回答比率

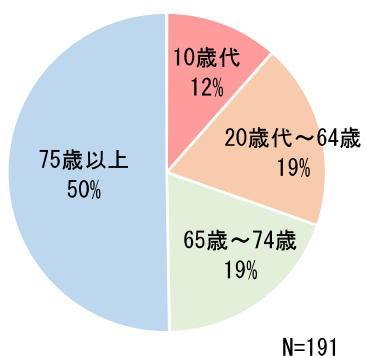
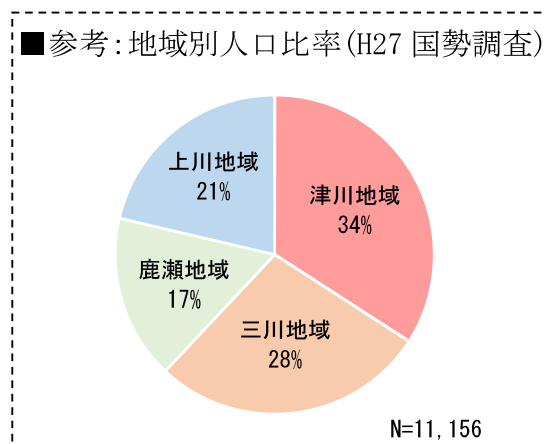
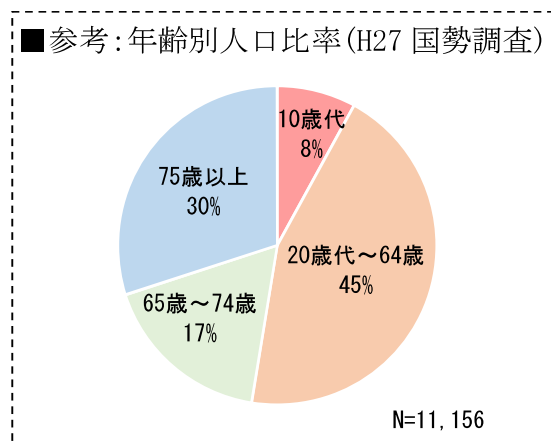


図 年齢別回答比率



※平成 27 年の国勢調査の母数 N は、年齢不詳と 10 歳未満の人口を除いた数値

(2) 鉄道

①鉄道の利用目的と目的地

○鉄道の利用目的は、「通院」、「買い物」の順で多くなっています。また、「通学」や「通勤」でも鉄道が利用されています。

○目的地は「新潟市」、「阿賀町内」、「五泉市」の順で多くなっています。

○利用目的別の目的地を見ると、どの目的も「新潟市」が比較的多くなっています。

○鉄道利用者の外出先は、鹿瀬地域は町内が最も多く、その他の地域は新潟市が最も多くなっています。

○阿賀野市や新発田市など乗り換えが必要な近隣市町村の利用は少ないです。

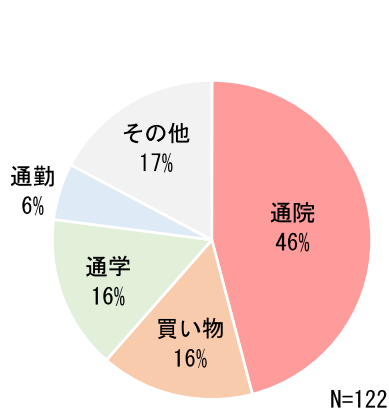


図 鉄道の利用目的

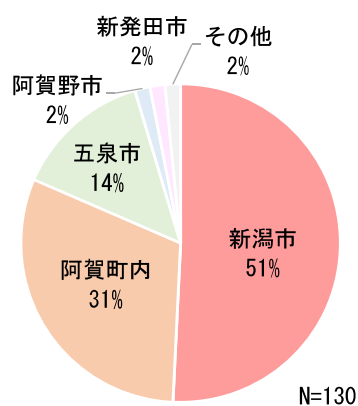


図 鉄道利用時の目的地

※利用目的の「その他」は「家族・友人の所へ行く」、「講演・イベントの参加」など

※目的地の「その他」は福島県(1件)など

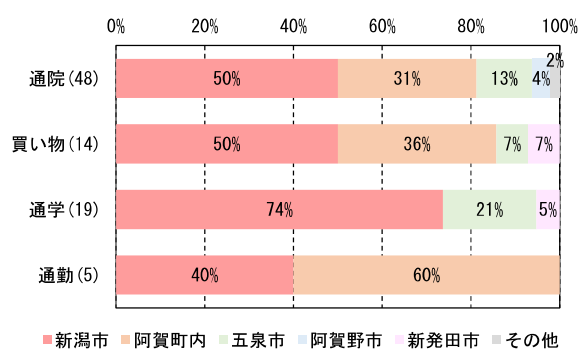
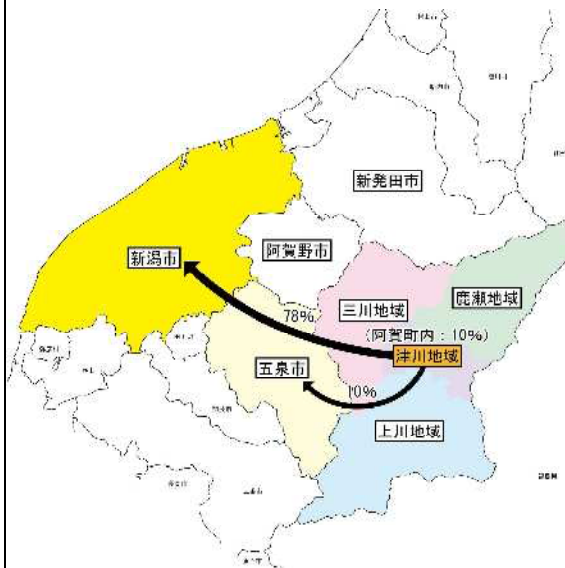


図 利用目的別の目的地

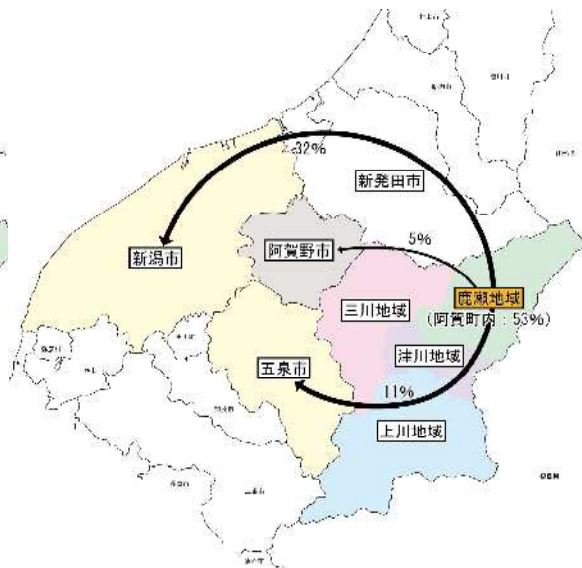
※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

鉄道利用者の目的地の割合

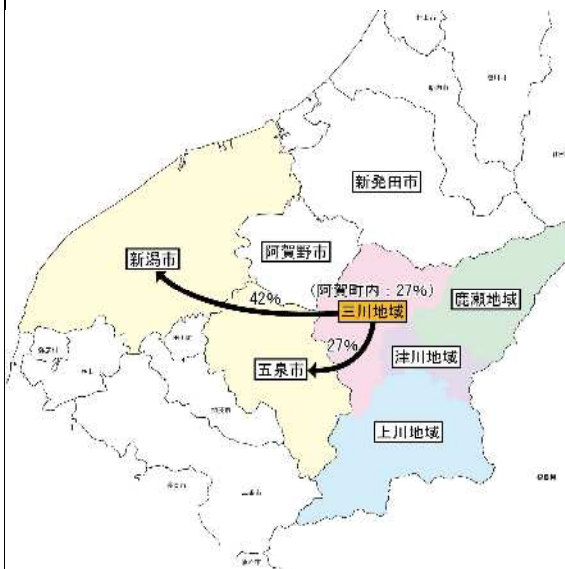
【津川地域】



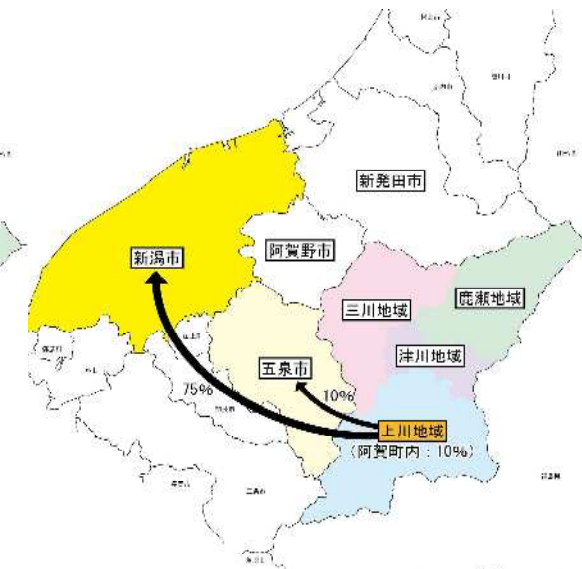
【鹿瀬地域】



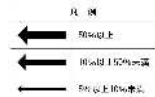
【三川地域】



【上川地域】



※5%以上の市町村のみ表現



②鉄道の利用頻度

○鉄道の利用頻度は、「月に1回より少ない」が最も多いです。また、38%が週に1回以上鉄道を利用しています。

○目的別利用頻度を見ると、「通院」、「買い物」での利用者は「月に2、3回程度」、「月に1回より少ない」の回答がほとんどとなっています。

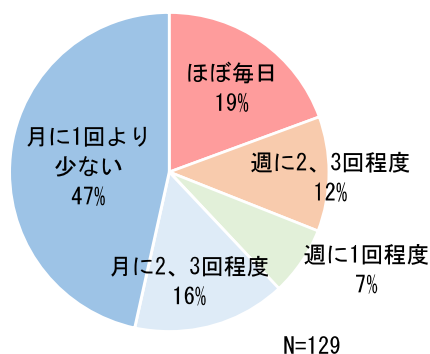


図 利用頻度

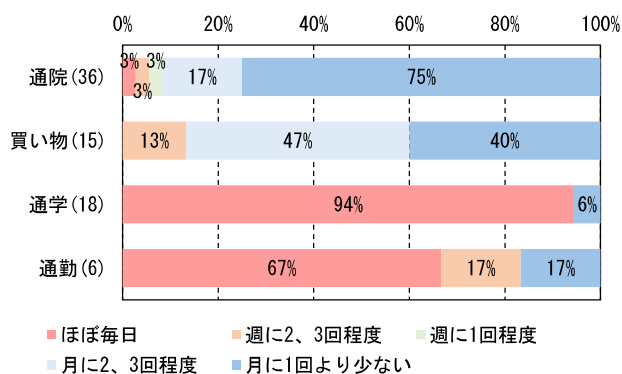


図 利用目的別の利用頻度

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

③駅までの交通手段

○駅までの交通手段は、「路線バス」、「家族の送迎」、「福祉バス」の順に多いです。

○駅までの交通手段をバスと回答した人は、どの地域も一定数回答がありました。

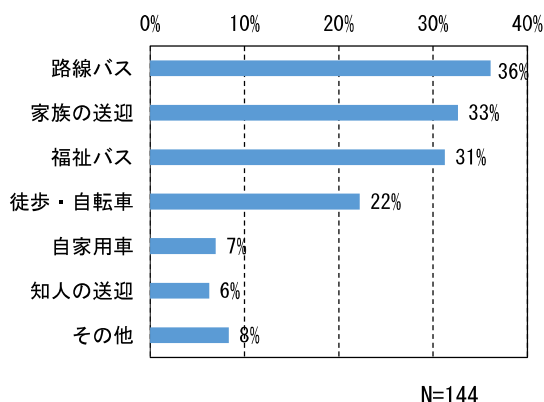


図 駅までの交通手段（複数回答）

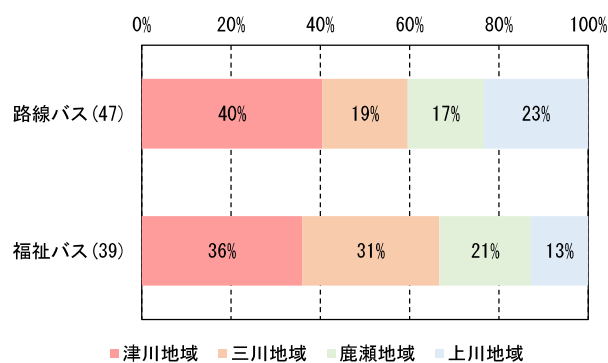


図 駅までの交通手段をバスと回答した人の住所

※その他はバイク、タクシーなど

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

④鉄道を利用した時間帯

○出発時間帯は、どの目的も午前中に集中しています。

○帰宅時間帯は、通院や買い物は「12 時～18 時」が多いですが、「通学」や「通勤」は「18 時～21 時」が多くなっています。

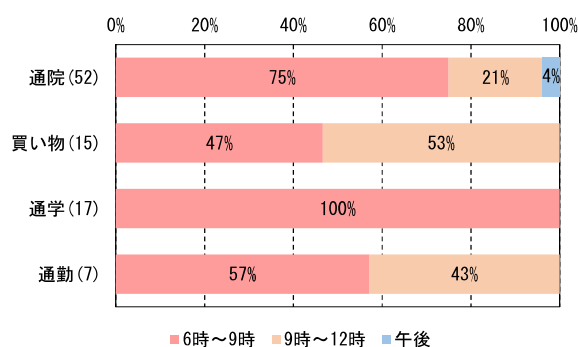


図 出発時間帯

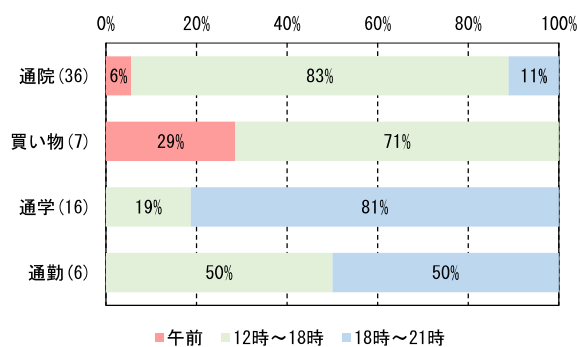


図 帰宅時間帯

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

⑤駅の満足度

○駅の満足度は、「大変満足」、「満足」と回答しているのは、43%となっています。

○よく乗車する駅別に見ると、三川駅は津川駅と比較してやや満足度が低くなっています。

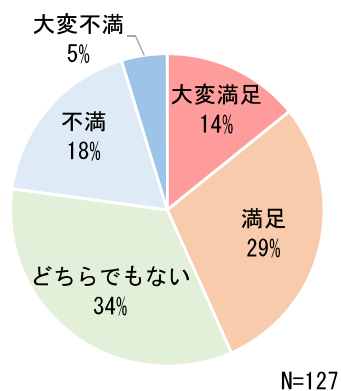


図 満足度

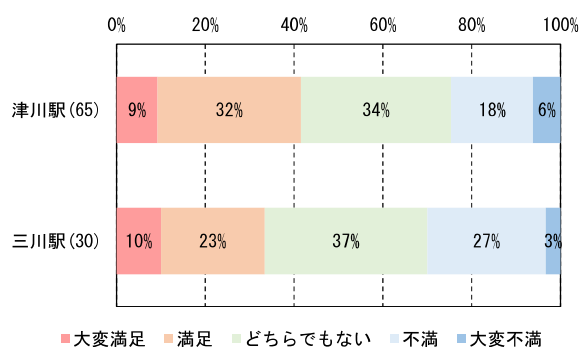


図 駅別の満足度

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

⑥鉄道の改善要望

○鉄道の改善要望は、津川駅では、「駅の階段・段差の解消をする」、「路線バスとの接続を改善する」の順で多いです。三川駅は、「特に改善要望なし」が多く回答数は少ないですが、津川駅と同様の要望があります。

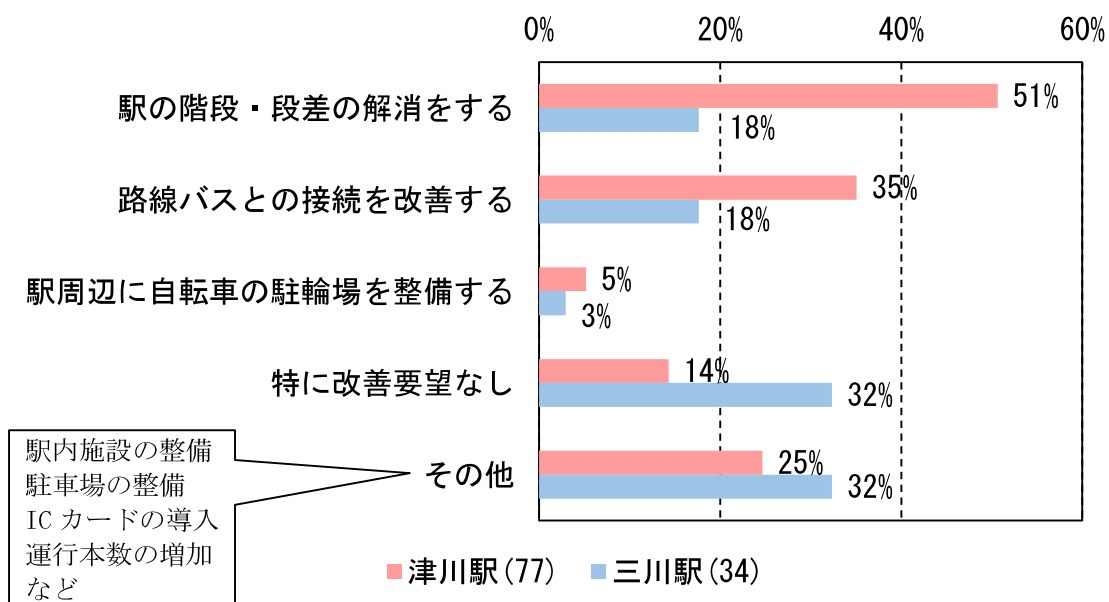


図 駅別の改善要望（複数回答）

※（ ）内の数字は無回答等を除いた回答者数

(3) 路線バス

① 路線バスの利用目的と目的地

○ 路線バスの利用目的は、「通院」、「買い物」の順で多くなっています。また、「通学」や「通勤」でも路線バスが利用されています。

○ 目的地は「津川地域」、「三川地域」の順で多くなっています。

○ 利用目的別の目的地を見ると、どの目的も「津川地域」が比較的多くなっています。

○ 地域別の目的地を見ると、どの地域も「津川地域」が比較的多いですが、「三川地域」は地域内を目的地としている人が半数以上となっています。

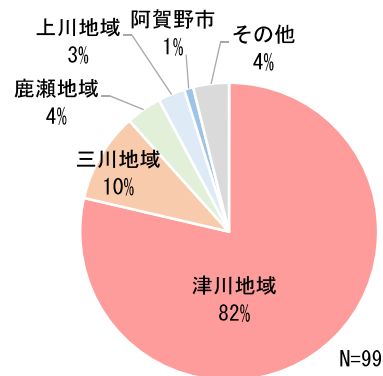
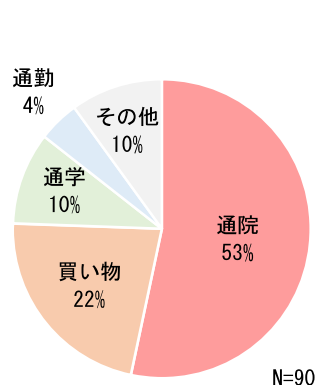


図 路線バスの利用目的

図 路線バス利用時の目的地

※利用目的の「その他」は「家族・友人の所へ行く」、「阿賀町役場」など

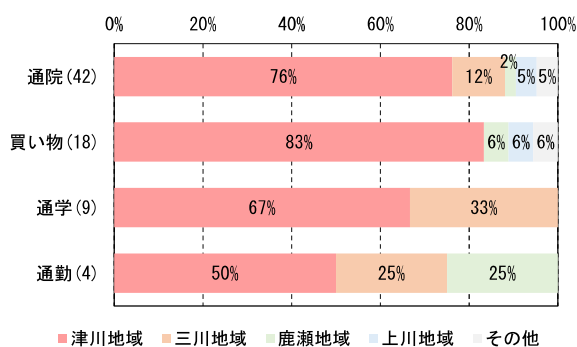


図 利用目的別の目的地

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

路線バス利用者の目的地の割合

【津川地域】



【鹿瀬地域】



【三川地域】



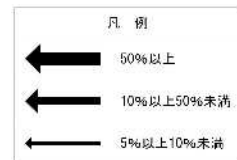
【上川地域】



※5%以上の流動のみ表現

※両側の矢印は、居住地と行き先が同一の地域の回答を示している。

資料：平成 29 年阿賀町利用者アンケート



②路線バスの利用頻度

○路線バスの利用頻度は、「月に1回より少ない」が最も多いです。また、33%が週に1回以上路線バスを利用しています。

○目的別利用頻度を見ると、「通院」、「買い物」での利用者は「月に2、3回程度」、「月に1回より少ない」の回答が半数以上となっています。「通学」は回答者数が少ないですが、「ほぼ毎日」と回答しているのは33%となっています。

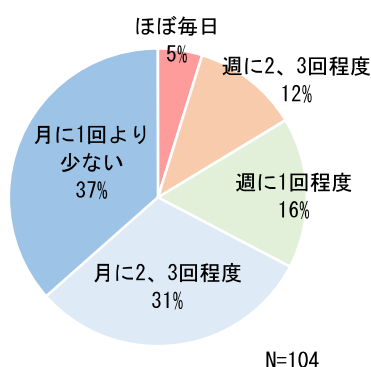


図 利用頻度

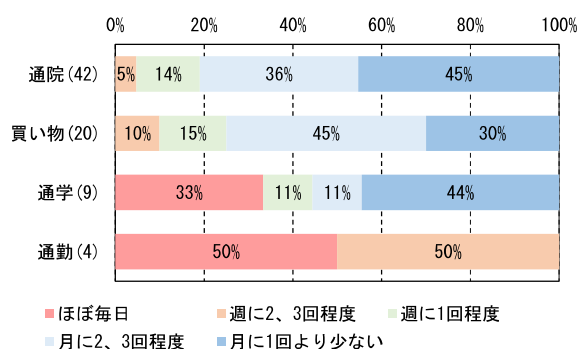


図 利用目的別の利用頻度

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

③路線バスを利用した時間帯

○出発時間帯は、どの目的も午前中に集中しています。

○帰宅時間帯は、通院や買い物は「12時～15時」が多いですが、「通学」や「通勤」は15時以降が多くなっています。

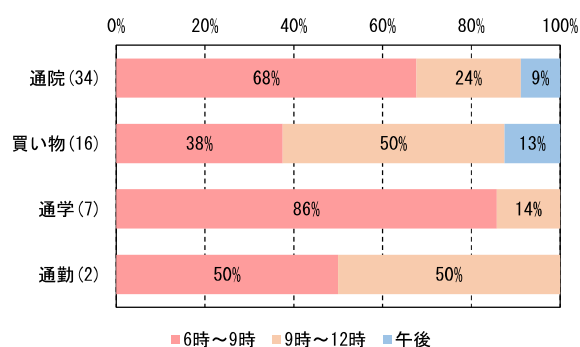


図 出発時間帯

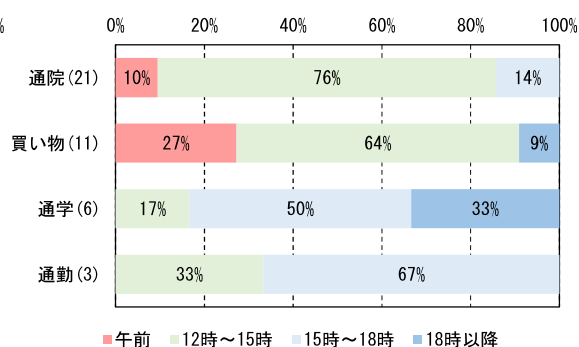


図 帰宅時間帯

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

④路線バスの満足度

- 路線バスの満足度は、「大変満足」、「満足」と回答しているのは、67%となっています。
- 地域別に見ると、「鹿瀬地域」の満足度がやや高く、その他の地域はほぼ同じとなっています。

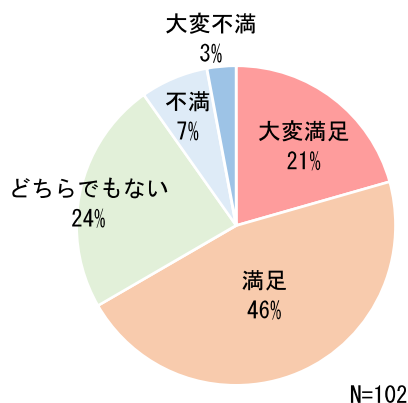


図 満足度

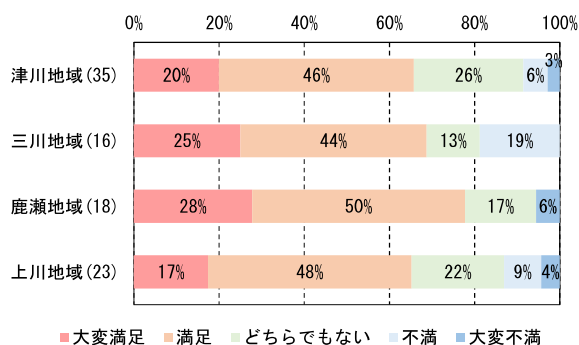


図 地域別の満足度

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

⑤路線バスの改善要望

- 路線バスの改善要望は、「バス停に待合所やイスを設置する」、「乗り降りするときの段差が小さいバスを導入」、「分かりやすい路線図や時刻表を提供」の順で多く、運行内容よりも利用環境の改善の要望が多いです。また、「特に改善要望なし」と回答している人が多くなっています。
- 地域別に見ると、津川地域は「乗り降りするときの段差が小さいバスを導入」がやや多く、三川地域は、「バス停に待合所やイスを設置する」がやや多いです。

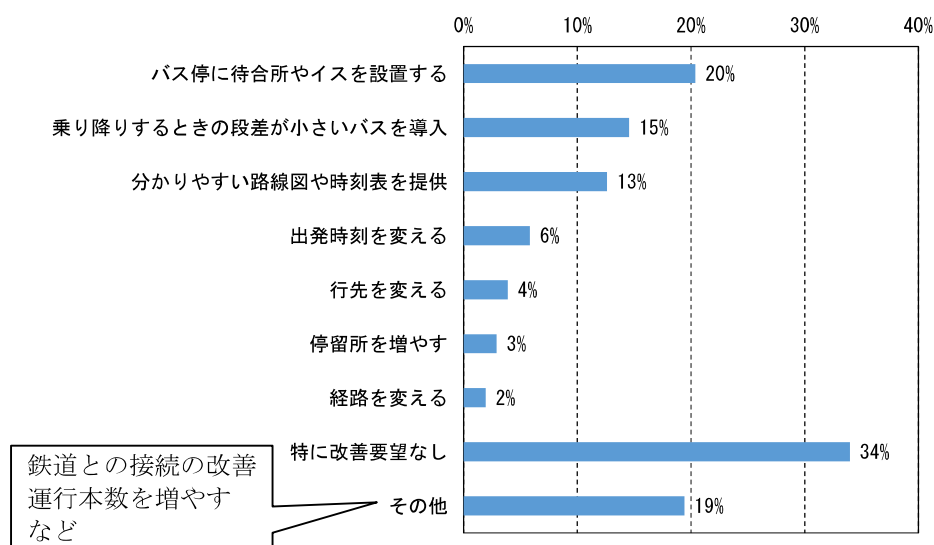


図 路線バスの改善要望（複数回答） N=103

表 地域別の路線バスに対する要望(複数回答)

項目	バス停に待合所や イスを設置する	段差が小さいバスを導入 乗り降りするときの	分かりやすい路線図や 時刻表を提供	出発時刻を変える	行先を変える	停留所を増やす	経路を変える	特に改善要望なし	その他
津川地域(34)	18%	29%	18%	6%	3%	6%	3%	29%	24%
三川地域(15)	33%	7%	20%	13%	7%	0%	7%	47%	20%
鹿瀬地域(13)	23%	15%	8%	8%	0%	0%	0%	62%	8%
上川地域(19)	16%	0%	16%	5%	5%	5%	0%	32%	37%

:利用環境に関する項目
 :運行内容に関する項目

(4) 福祉バス

① 福祉バスの利用目的と目的地

○福祉バスの利用目的は、「通院」、「買い物」の順で多くなっています。また、「入浴」でも福祉バスが利用されています。

○目的地は「津川地域」、「三川地域」の順で多くなっています。

○利用目的別の目的地を見ると、どの目的も「津川地域」が比較的多くなっています。

○地域別の目的地を見ると、「三川地域」は地域内を目的地としている人が 100%となっていて、他の地域は「津川地域」が半数以上となっています。

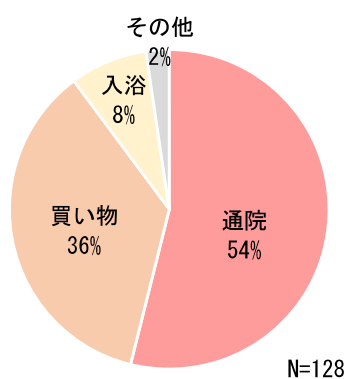


図 福祉バスの利用目的

※利用目的の「その他」は「郵便局・銀行」など

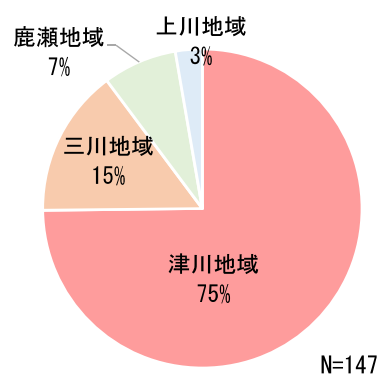


図 福祉バス利用時の目的地

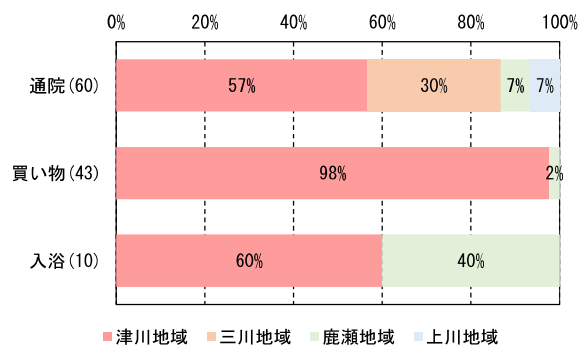


図 利用目的別の目的地

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

福祉バス利用者の目的地の割合

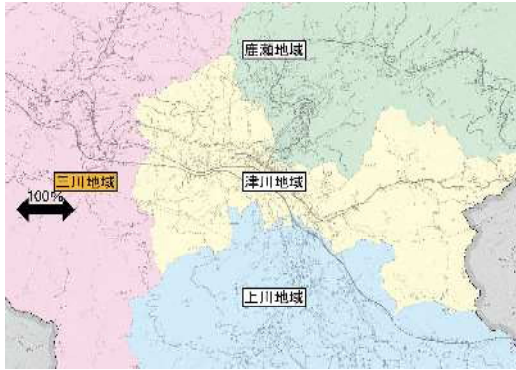
【津川地域】



【鹿瀬地域】



【三川地域】



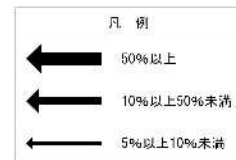
【上川地域】



※5%以上の流動のみ表現

※両側の矢印は、居住地と行き先が同一の地域の回答を示している。

資料：平成 29 年阿賀町利用者アンケート



②福祉バスの利用頻度

○福祉バスの利用頻度は、「月に2、3回程度」が最も多くなっています。また、53%が週に1回以上福祉バスを利用しています。

○目的別利用頻度を見ると、「通院」での利用者は「月に2、3回程度」、「月に1回より少ない」の回答が半数以上となっています。

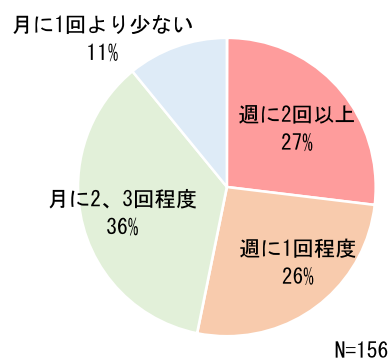


図 利用頻度

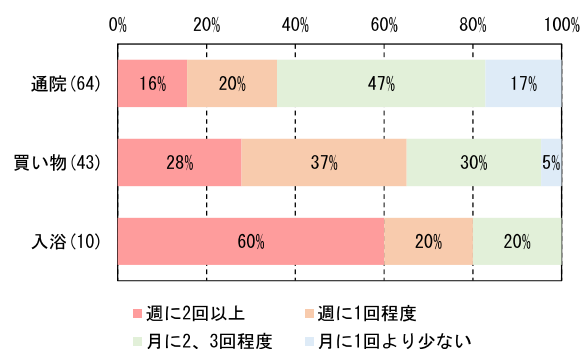


図 利用目的別の利用頻度

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

③福祉バスを利用した時間帯

○出発時間帯は、どの目的も午前中に集中していますが「入浴」は44%が「午後」から出発しています。

○帰宅時間帯は、通院や買い物は「12時～15時」が多いですが、「入浴」は「15時以降」が多くなっています。

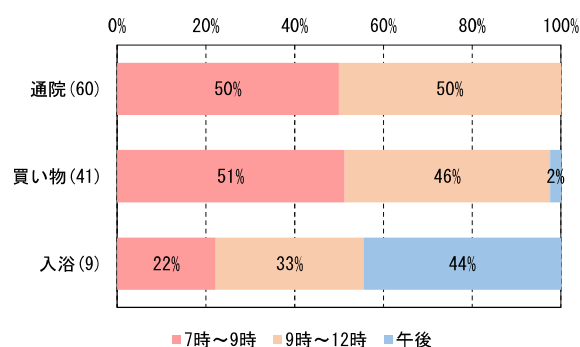


図 出発時間帯

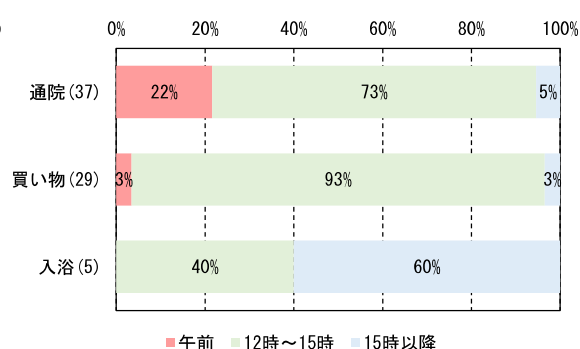


図 帰宅時間帯

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

④福祉バスの満足度

○福祉バスの満足度は、「大変満足」、「満足」と回答しているのは、88%となっています。

○地域別に見ても傾向はほぼ同じとなっています。

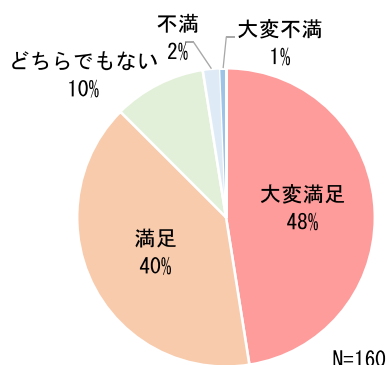


図 満足度

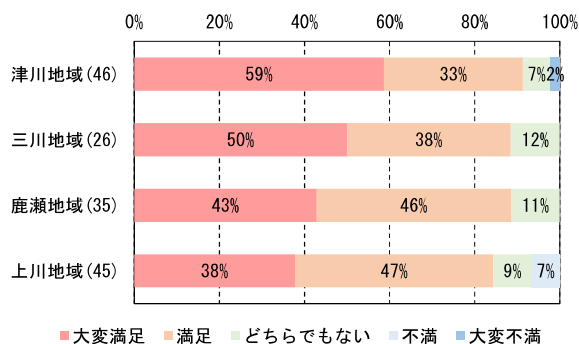


図 地域別の満足度

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

⑥福祉バスの改善要望

○福祉バスの改善要望は、「停留所の表示をわかりやすくする」、「分かりやすい路線図や時刻表を提供」の順で多く、運行内容よりも利用環境の改善の要望が多くなっています。また、「特に改善要望なし」と回答している人が多くなっています。

○地域別に見ても傾向はほぼ同じとなっていますが、「上川地域」は、他の地域と比較して「特に改善要望なし」と回答している人が多くなっています。

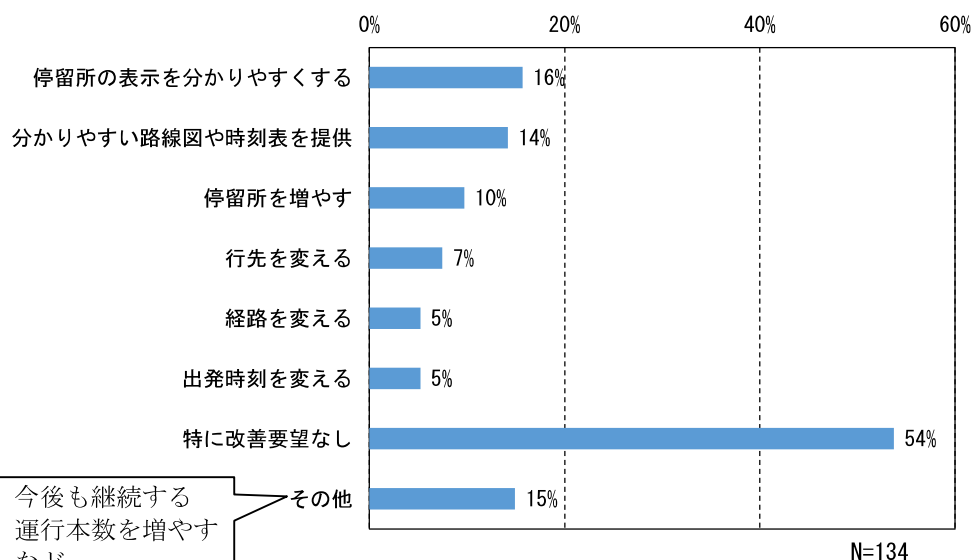


図 福祉バスの改善要望（複数回答）

表 地域別の改善要望

項目	停留所の表示を分かりやすくする	分かりやすい路線図や時刻表を提供	停留所を増やす	行先を変える	経路を変える	出発時刻を変える	特に改善要望なし	その他
津川地域 (43)	19%	19%	16%	5%	7%	2%	47%	21%
三川地域 (21)	14%	14%	0%	5%	5%	5%	52%	14%
鹿瀬地域 (26)	15%	15%	12%	4%	0%	15%	46%	19%
上川地域 (37)	14%	11%	8%	16%	8%	3%	70%	3%

□ : 利用環境に関する項目 □ : 運行内容に関する項目

(5) 利用者の流動状況（路線バス、福祉バス）

1) 通院

○どの集落からも津川中心部へバスを使って通院する人が多いですが、三川地域は、地域内の移動も多いです。

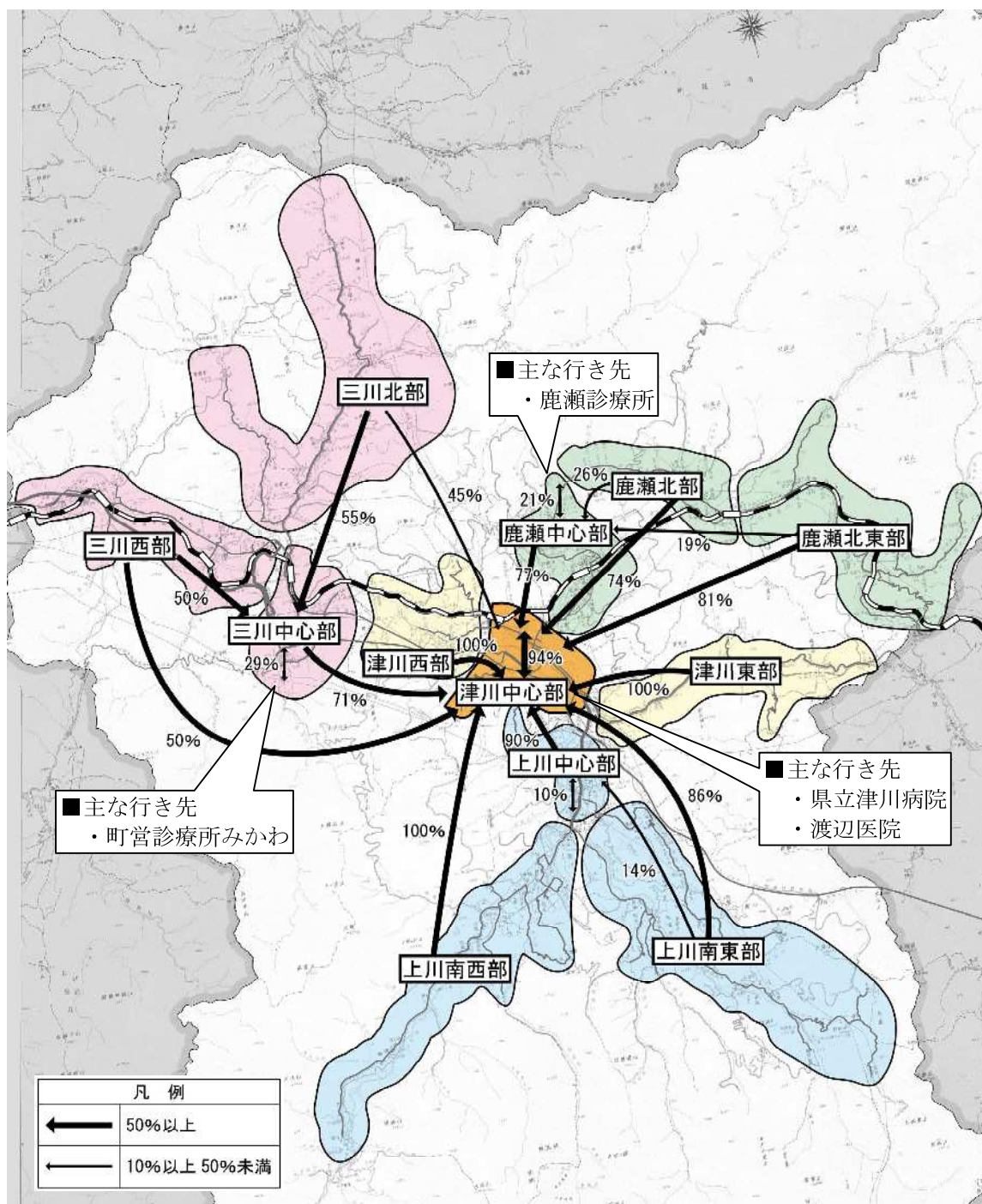


図 町内の移動状況（通院）

※母数は各集落別としている

資料：平成 29 年阿賀町利用者アンケート

2) 買い物

○ほぼ全ての集落から津川中心部へバスを使って買い物へ行く人が多いですが、三川地域は、地域内の移動もあります。

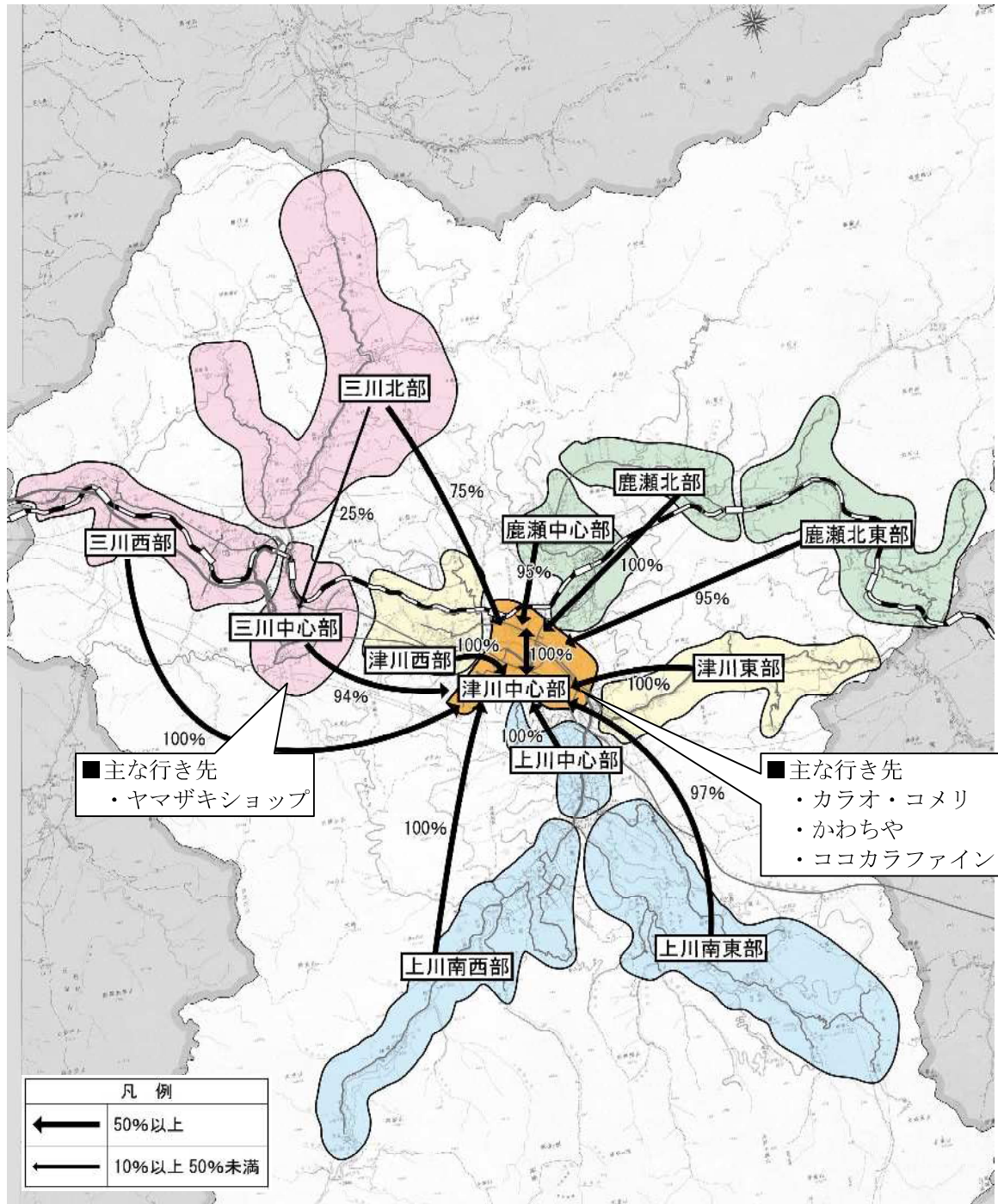


図 町内の移動状況 (買い物)

※母数は各集落別としている

資料：平成 29 年阿賀町利用者アンケート

(6) 高速バス（阿賀町バス）

① 高速バス（阿賀町バス）の利用目的と目的地

○高速バス（阿賀町バス）（以下高速バスと表記）の利用目的は、「通院」が最も多くなっています。

○目的地は「津川地域」、「三川地域」の順で多くなっています。

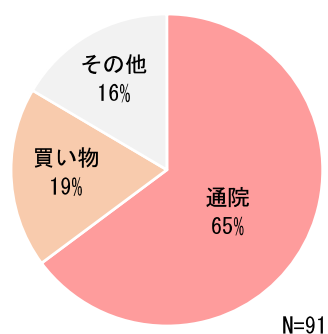


図 高速バスの利用目的

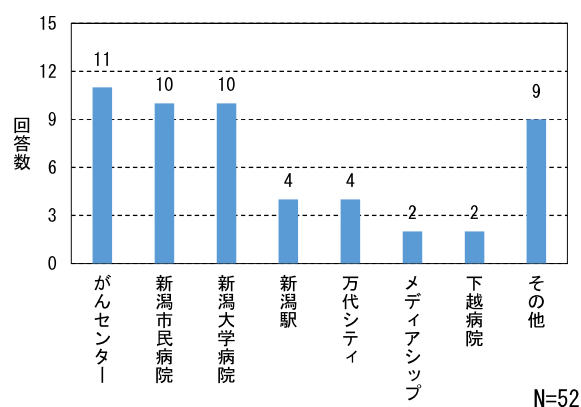


図 高速バス利用時の目的地

※利用目的の「その他」は「家族・友人に会いに行く」、「講演・イベントの参加など

※目的地の「その他」は「白山神社」、「家族の家」など

② 高速バスの利用頻度

○高速バスの利用頻度は、「月に1回以上」が最も多くなっています。

○目的別利用頻度を見ても、傾向はほぼ同じとなっています。

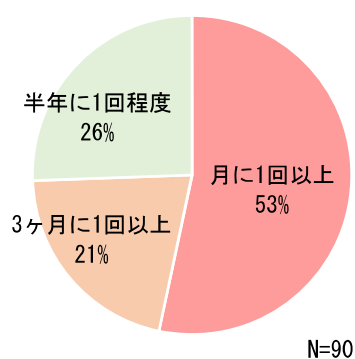


図 利用頻度

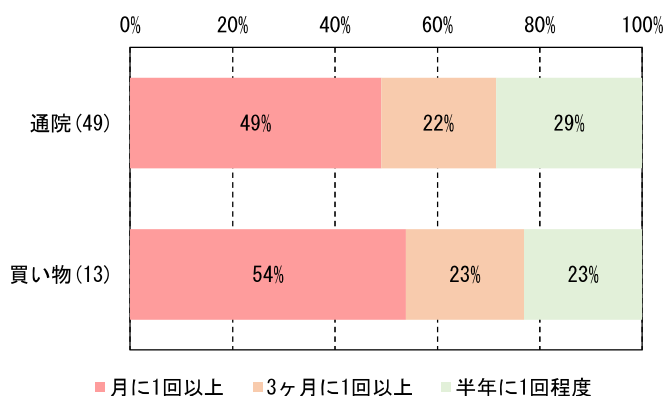


図 利用目的別の利用頻度

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

③高速バスの満足度

- 高速バスの満足度は、「大変満足」、「満足」と回答しているのは、68%となっています。
- 地域別に見ても傾向はほぼ同じとなっています。

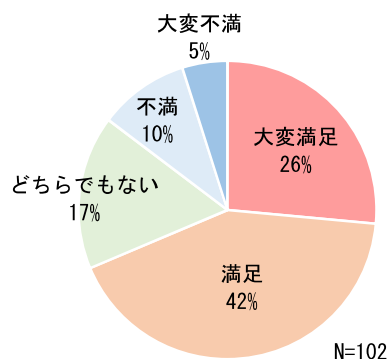


図 満足度

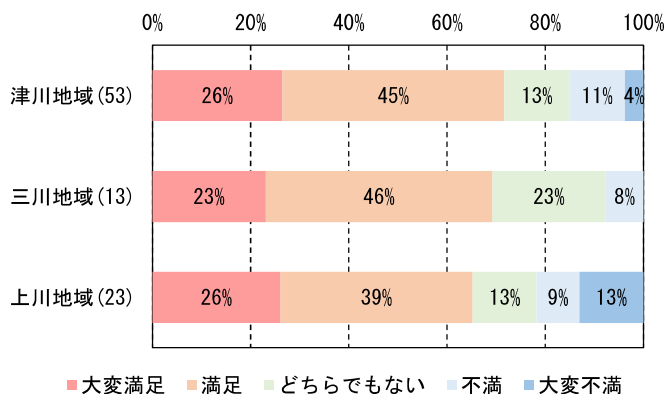


図 地域別の満足度

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

④高速バスの改善要望

- 高速バスの改善要望は、「新潟市内の停留所を増やす」、「運行時刻を変える」「路線バスとの接続を改善する」の順で多く、運行内容よりも利用環境の改善の要望が多くなっています。また、「特に改善要望なし」と回答している人も多いです。
- また、これらの要望の具体的な内容を見ると、「新潟市内の停留所を増やす」と回答している人は、「新潟駅」や「万代シテイ」、「古町」に停車してほしいという要望があります。

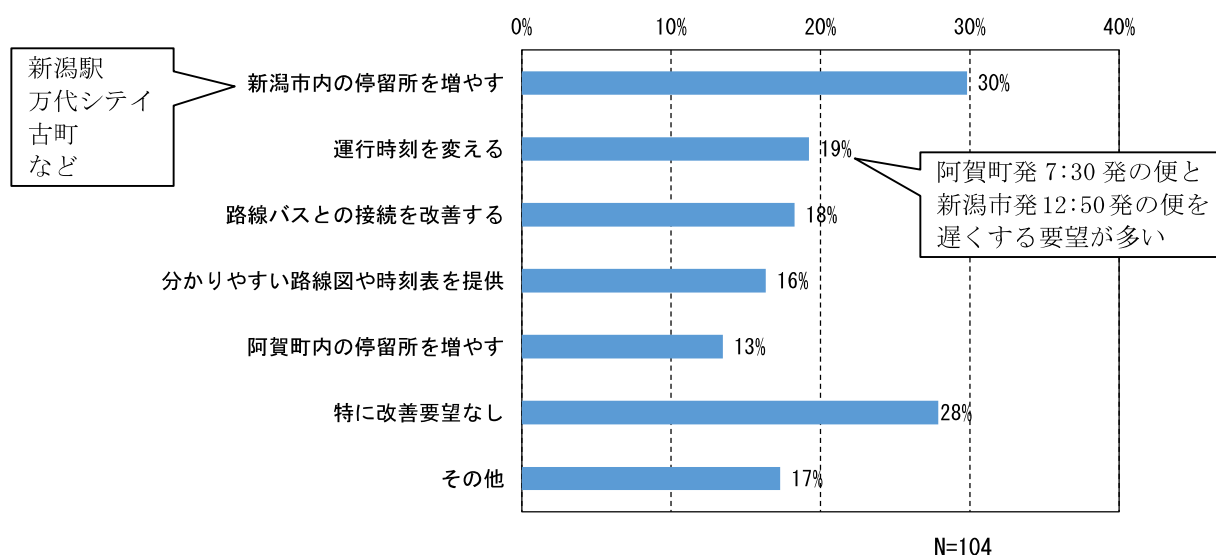


図 高速バスの改善要望（複数回答）

(7)行ってもよい見直し内容

○利用者が少ないバスに対して行っても良い運行見直しは、「予約制の運行」と「バスの運行日を減らす」がほぼ同数となっています。

○地域別に見ても、傾向はほぼ同じですが、「三川地域」は「運行日を減らす」がやや多くなっています。

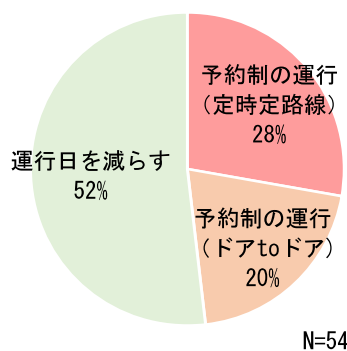


図 行っても良い見直し内容

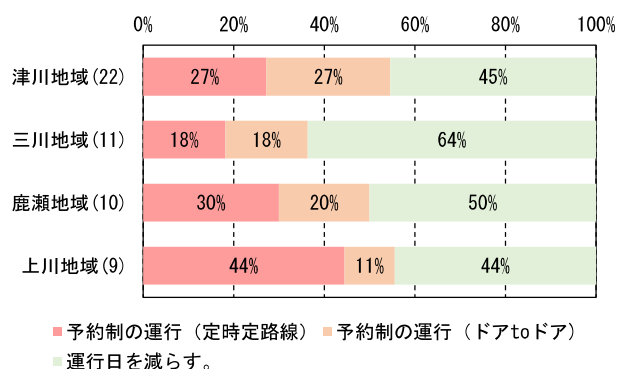


図 地域別の比較

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

(8)自動車運転免許証の保有状況と送迎をしてもらえる人の有無

○免許保有状況別に送迎をお願いできる人の有無を見ると、自動車運転免許証を持っていない、送迎をお願いできる人もいない人は、56%(64 人)となっています。また、これらの方々は、どの地域にも一定数存在しています。

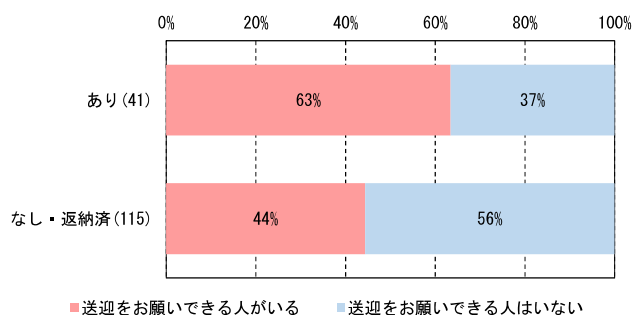


図 免許保有状況別の送迎をお願いできる人の有無

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

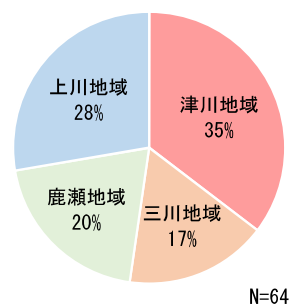


図 免許が無く送迎をお願いできる人がいない人の地域

(9) 外出する時に、2 箇所以上の場所へ行く場合の目的地

○公共交通利用者が 2 箇所以上の場所へ行く場合に目的地としている施設は、「カラオ・コメリ」、「かわちや」、「津川病院」の順に多く、町の中心部に立地している施設がほとんどとなっています。そのため、2 箇所以上の施設の回答の組み合わせも、ほとんどが町の中心部の施設となっています。

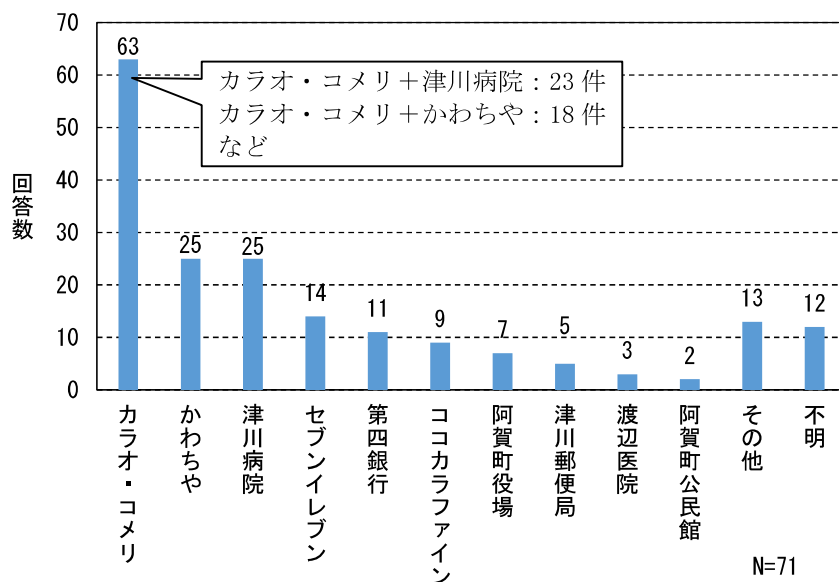


図 2 箇所以上施設を訪れる際の目的地（複数回答）

※カラオ・コメリは施設が隣接しているため、1つの施設として集計

※不明は病院、スーパー等施設が特定できなかった回答